

令和四年度

佐賀県国際化の現況

佐賀県国際課

目 次

I 国際化の現況

1. 現 況

(1) 海外渡航者の状況

ア 日本人出国者数の推移	1
イ 外国人入国者数の推移	1
ウ 年次別旅券発行件数	1
エ 佐賀県の年代別発行件数	2

(2) 在留外国人数の状況

ア 年次別在留外国人数の推移	3
イ 在留外国人数（国籍・地域別）	4
ウ 在留外国人数（在留資格別）	5

(3) 外国人留学生の受入状況

ア 外国人留学生数の推移	6
イ 県内外国人留学生の受入状況（学校別）	6

II 佐賀県の国際展開

1. 国際化推進事業概要

(1) 県の事業	7
(2) 公益財団法人佐賀県国際交流協会の事業	17
(3) 市町の事業	18

2. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 全国の状況

(ア) 全国自治体別友好姉妹提携数	25
(イ) 全国相手国別友好姉妹提携数一覧	25

イ 佐賀県の状況

(ア) 相手国別友好姉妹提携一覧	26
(イ) 県の状況	27
(ウ) 市町の状況	28

(エ) その他友好団体	31
ウ 教育機関等の姉妹友好等提携交流	
(ア) 大学・短期大学	32
(イ) 高等学校	36
(ウ) 中学校	39
(エ) 小学校	41
(オ) その他の交流状況	42
(2) 世界の諸地域との交流	
ア 市町別移住者数一覧	43
イ 在外県人会	44
4. 国際化推進のための環境づくり	
(1) 語学指導等を行う外国青年招致事業(JET プログラム)	
ア 年度別招致状況	45
イ 外国青年招致事業による招致青年の配置状況	46
(2) 外国語教育	
ア 県立高校における留学生受入校及び受入人数	47
イ 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況	47
ウ 県立高校における英語以外の外国語の取組状況	48
エ 県立高校における海外修学旅行の実施状況	48
オ 海外との交流状況	49
(ア) 高等学校	49
(イ) 中学校	51
(ウ) 小学校	52
(3) 多文化共生の地域づくり	
ア 県内の地域日本語教室の数	54
5. 国際協力	
(1) 国際協力の推進	
ア 佐賀県海外技術研修員受入状況	55
イ 独立行政法人国際協力機構(JICA)研修員受入状況	57
ウ 独立行政法人国際協力機構(JICA)海外技術専門家派遣状況	59

エ	青年海外協力隊等派遣状況	
(ア)	年度別派遣者数	61
(イ)	国別・地域別派遣者数	61
(ウ)	青年海外協力隊・海外協力隊員派遣状況	62
(エ)	シニア海外協力隊派遣状況	62
(オ)	日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊派遣状況	62
オ	アセアン青年・青年研修等受入状況	63

Ⅲ 国際交流関係諸機関

1.	市町国際交流担当課（室）	64
2.	県の機関	65
3.	その他関係機関	65

I 国際化の現況

1. 現況

(1) 海外渡航者の状況

佐賀県の日本人出国者数は、平成12年の76,297人をピークに減少傾向にあったが、平成28年から令和元年まで4年連続で増加し、令和元年には71,500人とピークに迫った。ところが、令和2年に新型コロナウイルス感染症が世界的に流行してからは減少に転じ、令和2年は9,942人と前年から61,558人(86.1%)減少し、令和3年には758人と大幅に減少した前年からさらに9,184人(92.4%)減少した。しかし、令和4年には渡航制限が徐々に緩和されたことから同年の出国者数は増加に転じ、5,593人と前年から4,835人(637.9%)増加した。全国でも、令和3年における日本人出国者数は、512,244人と前年に比べ2,661,975人(83.9%)減少していたが、令和4年は増加に転じ2,771,770人と前年から2,259,526人(441.1%)増加した。

また、外国人入国者数は全国で令和4年は4,198,045人であり、新型コロナウイルス感染症の影響があった前年から3,844,926人とこちらも大幅に(1,088.8%)増加した。

旅券の発行件数については、佐賀県の令和元年の発行件数は21,402冊であったが、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の流行のため旅券の取得を希望する人が減り、令和3年は1,328冊と大きく減少した。しかしその後、渡航制限が徐々に緩和されたことから、令和4年には4,016冊と一転して増加に転じた。

ア 日本人出国者数の推移

年次	佐賀県		全 国	
	人数(人)	前年比%	人数(人)	前年比%
H4	47,883	115.9	11,790,699	110.9
H5	50,130	104.7	11,933,620	101.2
H6	57,557	114.8	13,578,934	113.8
H7	65,835	114.4	15,298,125	112.7
H8	67,777	102.9	16,694,769	109.1
H9	70,653	104.2	16,802,750	100.6
H10	66,561	94.2	15,806,218	94.1
H11	71,456	107.4	16,357,572	103.5
H12	76,297	106.8	17,818,590	108.9
H13	66,287	86.9	16,215,657	91.0
H14	69,029	104.1	16,522,804	101.9
H15	48,337	70.0	13,296,330	80.5
H16	65,888	136.3	16,831,112	126.6
H17	63,286	96.1	17,403,565	103.4
H18	60,941	96.3	17,534,565	100.8
H19	59,688	97.9	17,294,935	98.6
H20	55,213	92.5	15,987,250	92.4
H21	56,494	102.3	15,445,684	96.6
H22	58,342	103.3	16,637,224	107.7
H23	60,369	103.5	16,994,200	102.1
H24	69,039	114.4	18,490,657	108.8
H25	59,875	86.7	17,472,748	94.5
H26	57,006	95.2	16,903,388	96.7
H27	50,207	88.1	16,213,789	95.9
H28	55,617	110.8	17,116,420	105.6
H29	58,515	105.2	17,889,292	104.5
H30	67,003	114.5	18,954,031	106.0
R元	71,500	106.7	20,080,669	105.9
R2	9,942	13.9	3,174,219	15.8
R3	758	7.6	512,244	16.1
R4	5,593	737.9	2,771,770	541.1

イ 外国人入国者数の推移

年次	人数(人)	前年比%
H4	3,926,347	101.8
H5	3,747,157	95.4
H6	3,831,367	102.2
H7	3,732,450	97.4
H8	4,244,529	113.7
H9	4,669,514	110.0
H10	4,556,845	97.6
H11	4,901,317	107.6
H12	5,272,095	107.6
H13	5,286,310	100.3
H14	5,771,975	109.2
H15	5,727,240	99.2
H16	6,756,830	118.0
H17	7,450,103	110.3
H18	8,107,963	108.8
H19	9,152,186	112.9
H20	9,146,108	99.9
H21	7,581,330	82.9
H22	9,443,696	124.6
H23	7,135,407	75.6
H24	9,172,146	128.5
H25	11,255,221	122.7
H26	14,150,185	125.7
H27	19,688,247	139.1
H28	23,218,912	117.9
H29	27,428,782	118.1
H30	30,102,102	109.7
R元	31,187,179	103.6
R2	4,307,257	13.8
R3	353,119	8.2
R4	4,198,045	1,188.9

調：法務省出入国在留管理庁

ウ 年次別旅券発行件数(単位：冊)

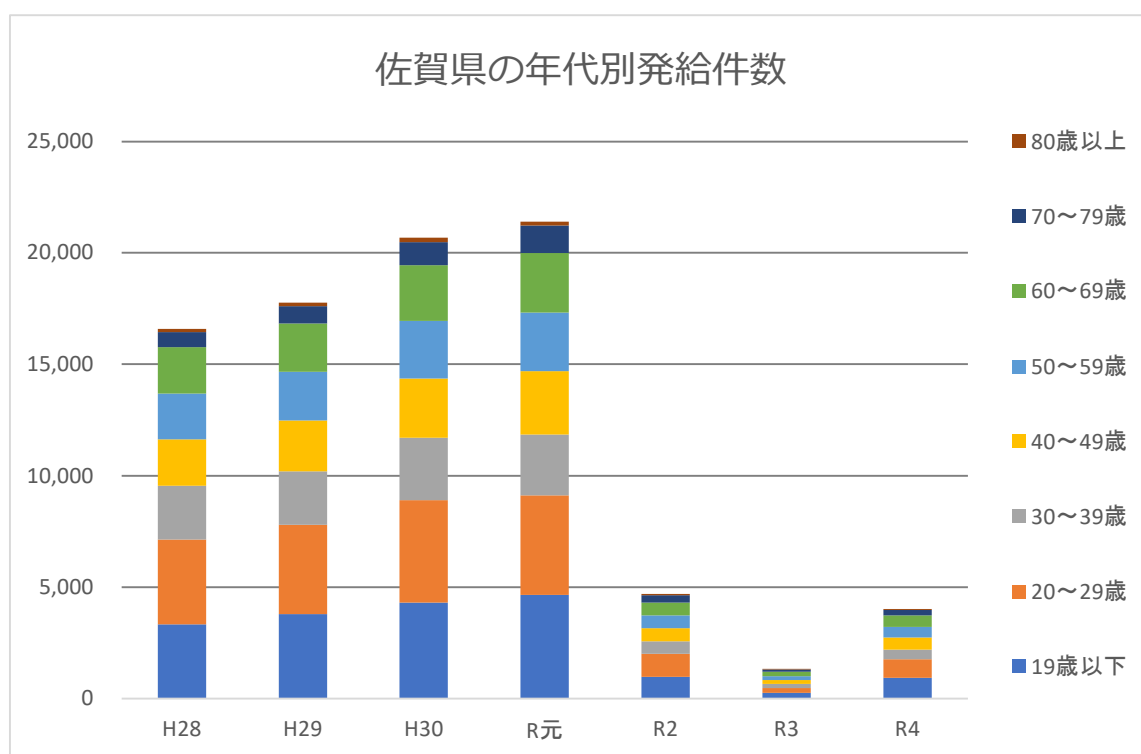
年次	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
佐賀県発行数	16,021	14,230	16,580	17,766	20,673	21,402	4,696	1,328	4,016
全国発行数	3,210,844	3,249,593	3,738,380	3,959,468	4,182,207	4,365,290	1,234,928	513,943	1,218,692

調：外務省

エ 佐賀県の年代別発給件数

年次 区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
19歳以下	3,327	3,782	4,311	4,645	967	259	923
20～29歳	3,812	4,010	4,593	4,478	1,043	218	834
30～39歳	2,412	2,400	2,804	2,723	558	179	443
40～49歳	2,077	2,282	2,658	2,848	585	171	537
50～59歳	2,052	2,192	2,572	2,622	574	176	479
60～69歳	2,094	2,169	2,509	2,671	578	197	512
70～79歳	668	773	1,029	1,234	333	109	253
80歳以上	138	158	197	181	58	19	35
合 計	16,580	17,766	20,673	21,402	4,696	1,328	4,016

調：外務省



(2) 在留外国人数の状況

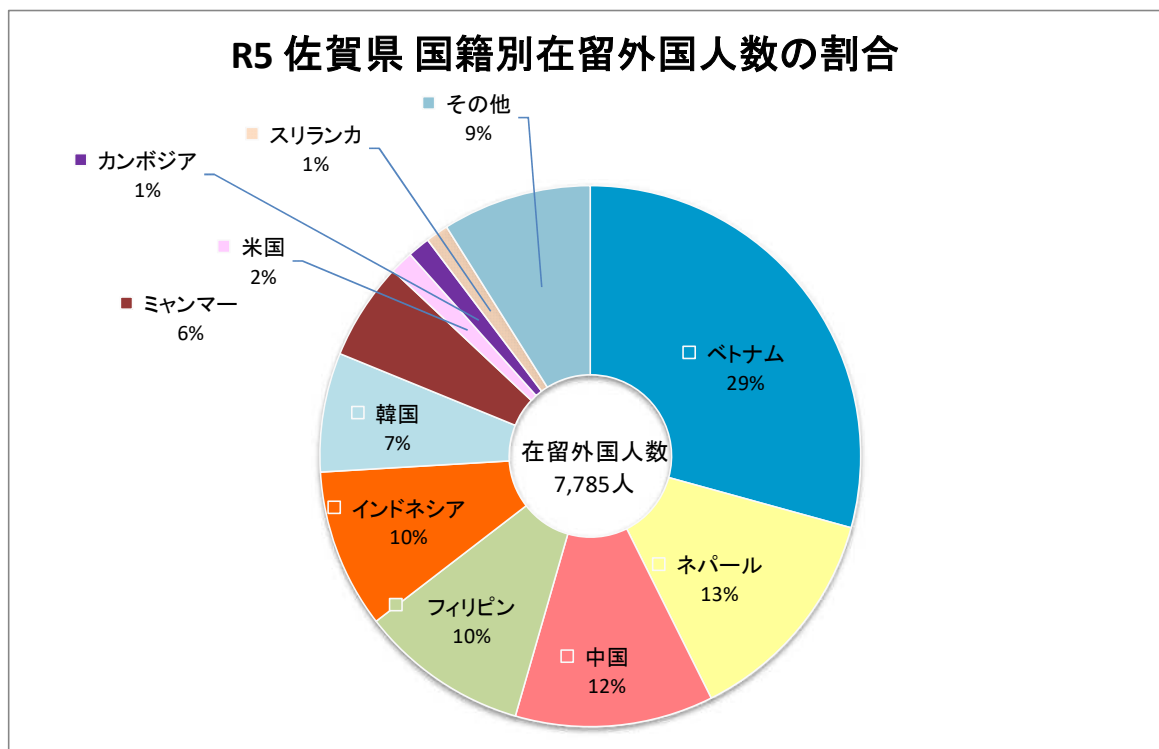
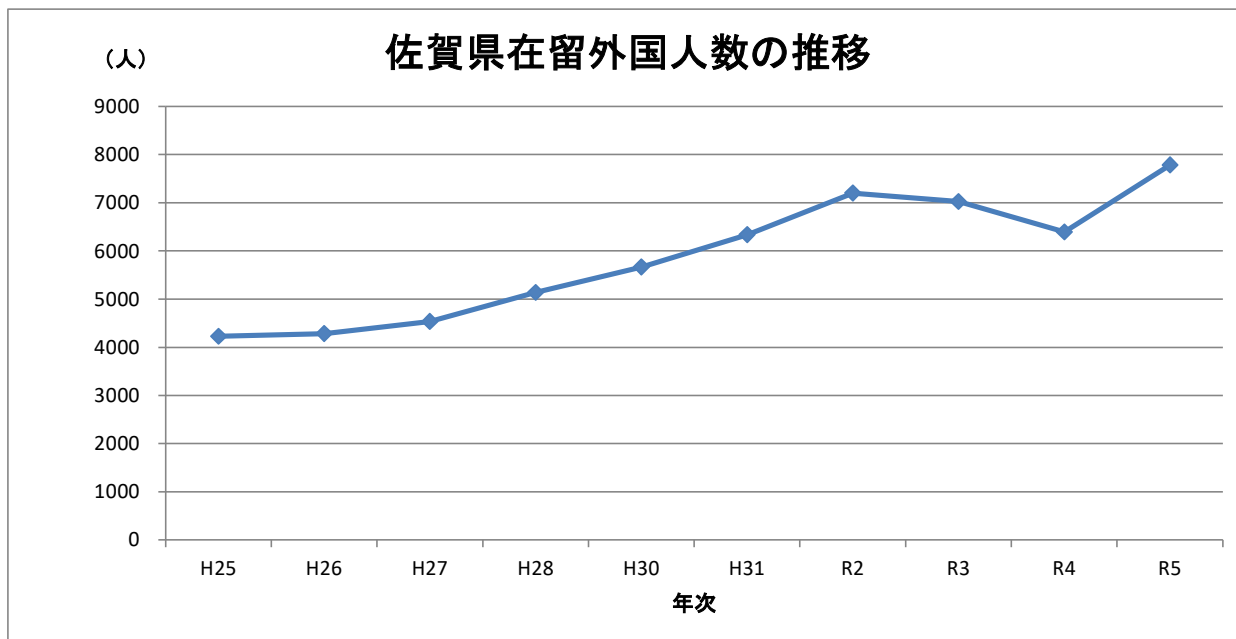
ア 年次別在留外国人数の推移

年次	H25	H26	H27	H28	H30	H31	R2	R3	R4	R5
佐賀県	4,229	4,285	4,536	5,140	5,666	6,338	7,204	7,027	6,394	7,785
全国	2,066,445	2,121,831	2,232,189	2,382,822	2,497,656	2,667,199	2,866,715	2,811,543	2,704,341	2,993,839

※共通：H24～H28は12月末現在、H30以降は1月1日現在。

出典：県国際課調

※全国：H28までは出入国在留管理庁のデータ。H30以降は総務省の住民基本台帳のデータ。



ウ 在留外国人数（在留資格別）

令和5年1月1日現在

区分	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	神崎市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	計	区分	
総計	2,062	811	1,656	243	589	230	192	230	207	194	198	299	96	249	11	157	18	65	208	70	7,785	総計	
教授	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	教授
芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	芸術
宗教	3	1	0	0	7	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	宗教
報道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	報道
高度専門職	7	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	13	高度専門職
経営・管理	9	2	10	4	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	31	経営・管理
法律・会計業務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	法律・会計業務
医療	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	医療
研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	研究
教育	22	9	7	0	1	7	3	3	1	1	1	0	0	1	1	1	1	2	1	0	0	62	教育
技術・人文知識・国際業務	133	39	144	9	25	17	9	16	43	12	12	10	4	11	0	11	0	2	4	6	0	507	技術・人文知識・国際業務
企業内転勤	2	0	9	0	1	0	15	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	企業内転勤
介護	42	4	8	11	0	4	8	1	10	1	4	2	0	9	1	6	1	4	0	3	0	119	介護
興行	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	興行
技能	23	10	36	0	2	7	3	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	88	技能
特定技能	152	103	159	17	78	14	17	18	10	54	30	104	14	15	0	20	1	3	51	7	0	867	特定技能
技能実習	367	312	217	136	321	81	69	88	52	68	85	118	61	133	2	61	7	41	91	46	0	2,356	技能実習
文化活動	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	文化活動
留学	439	8	550	2	0	3	1	0	0	6	0	7	0	4	0	2	0	1	6	0	0	1,029	留学
研修	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	研修
家族滞在	145	39	121	19	19	18	7	8	15	1	12	4	0	14	2	6	2	1	6	0	0	439	家族滞在
特定活動	51	25	52	12	19	5	12	12	11	8	5	4	3	5	0	6	0	0	9	1	0	240	特定活動
永住者	379	136	194	17	51	37	17	49	22	27	25	13	8	39	3	18	2	3	19	5	0	1,064	永住者
日本人の配偶者等	79	51	50	2	19	17	13	8	14	7	8	11	1	8	2	7	1	1	8	1	0	308	日本人の配偶者等
永住者の配偶者等	7	3	7	0	1	0	2	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	26	永住者の配偶者等
定住者	46	7	36	2	3	6	3	4	0	0	3	4	1	6	0	2	0	2	1	0	0	126	定住者
特別永住者	139	48	56	12	38	8	11	18	27	8	8	20	3	2	0	13	2	4	11	1	0	429	特別永住者
その他（未取得等）	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	その他（未取得等）

*「その他」は、出生による経過滞在者で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている者等

出典：県国際課調

(3) 外国人留学生の受入状況

令和4年5月の佐賀県における外国人留学生数は782人と大幅に減少していた前年から236人の増加となった。これは、令和4年度にコロナ禍が収束傾向になったことによるものと考えられる。全国的には、令和4年度も前年から減少傾向が続いている。

国籍別で見ると、ネパールの434人が最も多く、ミャンマーの106人、ベトナムの71人と続いている。大学では特に中国が多く、短期大学においては特にミャンマーが多い。また、日本語教育機関等ではネパールが突出して多く、ベトナムがこれに続いている。

ア 外国人留学生数の推移

(単位：人) 令和4年5月現在

	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
大学	229	252	268	258	199	142	156
短期大学	19	27	45	104	136	129	161
日本語学校	319	342	382	370	323	27	316
専門学校			96	199	291	248	149
県内計	567	621	1722	931	949	546	782
全国計	239,287	267,042	298,980	312,214	279,597	242,444	231,146

調：(県内) 佐賀地域留学生等交流推進協議会調

調：(全国) 独立行政法人日本学生支援機構調

イ 県内外国人留学生の受入状況(学校別)

(単位：人) 令和4年5月現在

	ネパール	ベトナム	中国	ミャンマー	スリランカ	バングラデシュ	韓国	インドネシア	マレーシア	タイ	その他	計
佐賀大学	2	9	46	6	8	16	6	14	8	6	21	142
西九州大学	0	0	12	0	0	0	1	0	0	0	1	14
西九州大学短期大学部	8	9	1	36	1	0	0	8	0	1	0	64
九州龍谷短期大学	4	2	3	4	0	0	0	0	0	1	0	14
佐賀女子短期大学	14	0	0	59	0	0	10	0	0	0	0	83
弘堂国際学園	190	11	0	1	0	1	0	0	1	0	0	204
日本文化教育学院	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
佐賀ランゲージセンター	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42
CODO外語観光専門学校	104	40	0	0	0	1	0	1	0	0	3	149
合計	434	71	62	106	9	18	17	23	9	8	25	782

調：佐賀地域留学生等交流推進協議会調

II 佐賀県の国際展開

1. 国際化推進事業概要

(1) 県の事業（令和4年度）

課名	事業名	内容
国際課	グローバルSAGA推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○外務連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム・ホアビン省（7月25日）、台湾・考試院（11月21日）等の訪問団の受入れ対応 ・タイフェス開催に係るタイ王国大使及び在福岡タイ王国総領事等の視察受入れ対応（10月21日～22日） ・フィンランドフェア開催に係る駐日フィンランド大使及び大使館関係者の視察受入れ対応（1月13日～15日） ・フィンランド・フォルッサ博物館館長の県内視察受入れ対応（10月17日～18日）等 ・外国政府機関等の知事表敬対応 <ul style="list-style-type: none"> 在福岡ベトナム総領事、駐日トンガ大使、駐日チェコ大使、駐日スイス大使、 在大阪フィリピン総領事等 ・知事の大使訪問 <ul style="list-style-type: none"> 駐日スペイン大使（2月15日）、駐日タイ王国大使（2月27日） ・駐日大使館等主催のレセプション参加対応 <ul style="list-style-type: none"> 国慶節（ベトナム、韓国、台湾）、ナショナルデー（タイ） 独立記念日（フィンランド、アメリカ） ○海外情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ミス・インターナショナルの来佐に係る佐賀県のPR・情報発信事業を実施（12月4日～5日）
	「佐賀の本物」海外PR事業	<ul style="list-style-type: none"> ○台湾プロモーション <ul style="list-style-type: none"> 佐賀～台湾便直行便の運航再開を見据えた観光客誘客や県産品の販路開拓を図るため、政府関係者、マスコミ、観光・流通関係者、タイガーエア経営幹部等、各界のキーパーソンを招待し佐賀の魅力を総合的にPRするレセプションを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・主催：佐賀県 ・期間：令和5年2月6日(月) ・内容：PRレセプション（グランドメイフルホテル台北） ○韓国プロモーション <ul style="list-style-type: none"> 佐賀～ソウル便直行便の運航再開を見据えた観光客誘客や県産品の販路開拓を図るため、政府関係者、マスコミ、観光・流通関係者、ティーウェイ航空経営幹部等、各界のキーパーソンを招待し佐賀の魅力を総合的にPRするレセプションを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・主催：佐賀県 ・期間：令和5年3月16日(木) ・内容：PRレセプション（63コンベンションセンター）
	重点連携国情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ○イベント開催： <ul style="list-style-type: none"> タイ王国及びフィンランドとの今後の交流や更なる取組の創出につなげるため、両国との連携及び関係する様々なコンテンツの対比・組み合わせ・融合等のコラボレーションを県民に知ってもらう機会を創出するイベントを開催。 <ul style="list-style-type: none"> ①タイフェスティバル（2022年10月22日～23日） 来場者数 約13,000名（さいこうフェス全体は約46,000名来場） ②フィンランドフェア（2023年1月14日～15日） 来場者数 のべ9,600名 ○佐賀文化プログラムホームページの維持管理および情報発信： <ul style="list-style-type: none"> ①②両イベントの実績をホームページ上で公開し情報発信
	日韓海峡沿岸交流事業	<ul style="list-style-type: none"> 日本側4県（福岡県、佐賀県、長崎県、山口県）及び韓国南岸1市3道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）との知事会議等の開催を通して、両地域間における広域のかつ多様な交流の促進を図った。 開催日 令和4年10月22日-23日 開催場所 福岡県
	海外交流推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナの影響により、学生の渡航ができなかったため、オンライン及びビデオレター等による学校交流を実施 <ul style="list-style-type: none"> …全羅南道：4校（高志館、佐賀商業、神埼中、千代田中） 香港：1校（附属中）、台湾：2校（唐津南、鳥栖商業） ○佐賀県内の学校とホストタウン相手国の学校（フィンランド1校、オランダ1校）間で、オンラインディスカッションやポスター、漫画作成などを通して青少年交流を実施 ○佐賀県職員的全羅南道派遣、全羅南道職員の受け入れを実施 ○韓国（全羅南道）との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・全羅南道職員佐賀県訪問（8月佐賀県：国際課長ほか、全羅南道：国際協力官ほか） ・佐賀県職員全羅南道庁訪問（11月佐賀県：国際課長ほか、全羅南道：国際協力官ほか） ・古代文化学術シンポジウムの共催 ○中国（遼寧省、貴州省）との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・遼寧省・日本友好交流大会（8月） ・貴州省外事弁公室とのオンライン会議（4月） ・貴州省と佐賀県の高校で学生交流を実施（12月）

課名	事業名	内容
国際課	海外県人会交流推進事業費	在外県人会に対する活動支援補助金により、会員同士の結びつきが強まり、県人会の活動が活性化された。
	創造的プラットフォーム形成事業費	<p>○滞在型創作活動の受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた海外からの渡航制限が緩和されたことにより、3年振りに海外からのクリエイターの受け入れが実現した ・第1期2名、第2期1名、第3期2名 合計：5名がそれぞれ約3か月間有田町に滞在し、創作活動を実施 <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダッチ・デザイン・ウィーク2022（オランダ）において有田焼をはじめとした佐賀県のモノづくりの可能性、魅力についてのCRA事業の情報発信プロモーションを実施（10月22日～30日） ・駐日オランダ大使館（東京）での情報発信 <p>○事業に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オランダ関係者（駐日大使館、オランダの財団、EKWC（ヨーロッパセラミックワークセンター）、国立陶磁美術館等）からの高い評価 ・特に駐日オランダ大使館では、大使館として最も重要視している政策の一つである「対外・国際文化政策」の事例の一つとして当該事業が高い評価を受けている ・オランダ国内ギャラリーで作品展示されたものや、当該事業における窯元との活動をきっかけにして商品化されたものが複数有 ・H29年度に同事業で受け入れたアーティストの作品がイタリアのコンペで最優秀賞を獲得
	交流大使委嘱	<p>県のさまざまな観光素材や県産品等の魅力を広く海外に情報発信することで、県と相手国・地域の相互発展に寄与する人的・産業・文化・教育・学術の交流を推進するとともに、インバウンド誘客や県産品の輸出拡大等につなげることを目的に交流大使を委嘱した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年10月 前駐日フィンランド大使ベッカ・オルバナ氏に「佐賀県フィンランド交流大使」を委嘱 <p>（過去の委嘱実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年 香港EGLツアーズ代表取締役 袁文英氏に「佐賀県国際観光大使」を委嘱 ・2017年 人気俳優ティティ・マハーヨーターラック氏に「佐賀県タイ文化交流大使」を委嘱 ・2019年 フィリピンのカルロス・ドミンガス財務大臣夫妻に佐賀県の観光親善大使「さがさいこう大使」を委嘱 ・2022年3月 チャイナエアライン東京支社長 張鴻鐘氏に「佐賀県台湾交流大使」を委嘱
	JICAボランティア支援事業	佐賀県出身JICAボランティアの活動報告「とびだそう！世界へ」を佐賀県ホームページに掲載し、広く県民の国際協力への理解や関心を高め、ひいては、協力隊参加の促進を図った。
	国際交流支援拠点の運営	多文化共生推進の拠点である国際交流プラザの管理と運営を行った。
	外国人に関する総合相談窓口運営	<p>外国人に関する相談窓口の機能を強化するため、国際交流プラザ内に「さが多文化共生センター」を設置し、様々な相談対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談体制：専任相談員2名 ・相談言語：21言語（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、マレー語、ネパール語、タガログ語、インドネシア語、ポルトガル語、フランス語、スペイン語、ロシア語、イタリア語、ドイツ語、タイ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語） ・実施主体：公益財団法人佐賀県国際交流協会（県の委託） ・相談実績：令和4年度（R4.4.1～R5.3.31）815件
	在住外国人支援事業	<p>多文化共生の地域づくりの推進のため、外国人住民の生活環境づくりを行った。</p> <p>やさしい日本語啓発セミナー：民間団体、個人、行政職員向けに、日常的な分かりやすい言葉に言い換える「やさしい日本語」の普及・啓発セミナーを行った。</p> <p>医療支援事業：医療通訳サポーターの医療機関への派遣及び通訳サポーター研修を実施した。医療機関を受診の際、新型コロナウイルスワクチン接種のための予約・問診の際、電話による通訳サービスを使用できるように設置し、広く周知を行った。</p> <p>生活相談支援事業：県内市町行政機関の担当窓口等（役場や福祉事務所等）が円滑な相談対応をできるようにするため、電話通訳サービスの利用を行った。</p>
	多文化共生地域の場づくり推進事業	<p>「生活者としての外国人」が日本人住民と交流を通して、日本で生活する上で必要な日本語や生活のルール、文化、風習などを学び、「顔の見える関係を作り」を目的とする地域日本語教室を県内の各市町に設置することで、外国人住民の日本語学習機会や地域住民等との交流の場を整備、充実させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置状況：地域日本語教室設置地域12市町 ・地域日本語教室の数：県内19か所（行政主催：5市町、ボランティア主催：14ヶ所）
	多文化共生環境整備事業	令和3～4年度にかけて実施した外国籍住民へのアンケート調査、県内市町でのタウンミーティング、学校でのスクールミーティング及び多文化共生の推進に係る施策検討会議での意見を踏まえ、多文化共生の推進に係る施策の方向性を示すほか、県内の優良な取組事例等をまとめた「さが多文化共生推進アクション」を策定した。

課名	事業名	内容
国際課	多文化共生に関する行政職員向け研修会	多文化共生を進めるうえで、住民に対して直接行政サービスを提供する市町との連携は極めて重要であることから、更なる強化を目的に県内20市町の職員を対象に研修会を開催し、県内の実務者の顔の見える関係づくりを構築し、情報共有を図った。 ・開催日：R4.8.9 ・研修内容：市町における課題の共有・行政が取り組む多文化共生、生活支援（医療・福祉・教育、外国人相談窓口の機能、コミュニケーション支援）、災害時の外国人住民の対応・コミュニケーション支援（多言語情報提供と日本語教育支援）など
	外国人留学生県内就職・進学支援事業	県内事業所での優秀な外国人材の活用、県内の多文化共生の地域づくりを図るために、外国人留学生の県内定着率の向上に取り組んだ。 ・外国人留学生の県内就職・進学に取り組む大学等に対し補助金を交付した。
	私費留学生支援事業	経済的に苦しい状況にある私費留学生に対して、県民協働で支援金を支給し、支援金提供者である県民と留学生の顔の見える関係を構築し、お互いの交流が進むように支援を行った。 ・支援金受給者：7名 ・支援者：5企業
	多文化共生の地域づくり事業	地域おこし協力隊制度を活用し、「多文化コミュニケーションプランナー」1名を配置。地域における多文化共生の意識醸成を図るとともに、地域と外国人をつなぐ仕組みづくりを実施した。
	国際交流員の設置事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により国際交流員4名（英語圏1名、韓国2名、ベトナム1名）を招致し、外国賓客の接遇・通訳、外国語刊行物等の編集・翻訳・監修など県の国際交流関係事務の補助、地域における語学指導への協力、イベントへの参画・助言など地域の国際交流活動支援を行った。
	外国語指導助手（ALT）、国際交流員（CIR）の設置補助事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により、日本と諸外国の人々の相互理解を深め、外国語教育を推進するため、外国語指導助手（Assistant Language Teacher: ALT）、国際交流員（Coordinator for International Relations）の設置のサポートを県内の市町に実施した。 ・JETプログラムによるALT・CIR・SEA（スポーツ国際交流員）数： 県及び8市町に37名（国籍：アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ等）
空港課	上海便の運航	九州佐賀国際空港と上海浦東国際空港との間で国際定期航空路線が運航しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度は全便運休。 運航路線：九州佐賀国際空港—上海浦東国際空港 運航会社：春秋航空 運航便数：— 利用者数：—
	西安便の運航	九州佐賀国際空港と西安咸陽国際空港との間で国際定期航空路線が運航しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度は全便運休。 運航路線：九州佐賀国際空港—西安咸陽国際空港 運航会社：春秋航空 運航便数：— 利用者数：—
	ソウル便の運航	九州佐賀国際空港と仁川国際空港との間で国際定期航空路線が運航しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度は全便運休。 運航路線：九州佐賀国際空港—仁川国際空港 運航会社：ティーウェイ航空 運航便数：— 利用者数：—
	台北便の運航	九州佐賀国際空港と台湾桃園国際空港との間で国際定期航空路線が運航しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度は全便運休。 運航路線：九州佐賀国際空港—台湾桃園国際空港 運航会社：タイガーエア台湾 運航便数：— 利用者数：—
港湾課	港湾振興事業	【伊万里港】国際コンテナ貨物を扱う国際貿易港 航路の充実や利用拡大を図るため船会社や荷主企業等を訪問しポートセールスを実施した。 ・国際定期コンテナ航路：4航路週8便（R5.3月現在） ①天津・大連・青島航路 ②上海航路（2便/週） ③釜山航路（4便/週） ④国際フィーダー航路（神戸港経由） ・R4コンテナ取扱実績数：33,020TEU 【唐津港】物流・水産・観光レクリエーションの複合港 ・集荷促進及び観光客船の誘致等に関する事業を実施した。 ・2022年外国クルーズ船寄港数：0回（新型コロナウイルス感染症の影響による）

課名	事業名	内容
文化課	オランダとの音楽交流	<p>県内の文化的、歴史的な魅力を県民に再発見・再認識してもらい、その魅力を県内外に発信し、地域の活性化を図ることを目的として次の事業を実施した。</p> <p>日時：令和5年3月1日（水）～令和5年3月10日（金）</p> <p>内容：オランダ人アーティスト2名が来日し、RIVER SIDE HOUSEで佐賀県アーティスト（邦楽三人娘）とともに制作活動を実施。</p> <p>日時：令和5年3月5日（日）</p> <p>内容：本應寺（嬉野市塩田町）でワークショップ「Land Memory and Folk song ～土地と記憶とうた～」を実施。</p> <p>日時：令和5年3月27日（月）～令和5年3月31日（金）</p> <p>内容：嬉野市文化会館リパティ、道の駅うれしのまるくで映像作品「FI-FU」の上映を実施。</p>
	バンコク有田焼展覧会事業	<p>佐賀県の文化的な魅力を海外に発信し、海外での佐賀県の文化の認知を深めるため、有田焼を中心とした日本の焼き物とタイの焼き物の展覧会をタイ王国文化省芸術局主催により、バンコク国立博物館で開催。会期に併せ佐賀県の文化や魅力を発信するイベント「Trip to SAGA」をバンコク国立博物館内のセミナーホールで開催した。</p> <p>日時：令和4年9月14日（水）～令和4年12月14日（水）</p> <p>内容：有田焼を中心とした日本の焼き物とタイの焼き物の展覧会「日本とタイの陶磁器交流～貿易と文化交流の永遠の伝説～」の開催 来場者数：26,864人</p> <p>日時：令和4年9月14日（水）～令和4年9月16日（金）</p> <p>内容：「Trip to SAGA」の実施 参加者数：1,319人</p>
	海外映画ドラマ等のロケ誘致	<p>映画やドラマなどの映像を通じた佐賀県の情報発信及び観光振興を目的として、海外映画ドラマ等のロケ誘致を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度及び令和3年度に引き続き、新規のロケ誘致実績はなし。</p> <p>年度後半に渡航制限が緩和されたことから、12月と2月に新規フィリピン映画のロケハンを2件受入れ、ロケ誘致に向けた具体的な活動を再開した。</p>
護（文化財活用室）	全羅南道-佐賀県交流古代文化学術シンポジウム	<p>全羅南道と佐賀県との友好交流協定書に基づき、全羅南道、羅州市、佐賀県の主催で、東亜大学校（羅州市）にて開催された古代史シンポジウムに出席し、学術発表及び全体討論に参加した（出席者は国際課2名、県博1名、文化財保護室1名）。シンポジウムの様子はYoutubeでリアルタイム公開された。</p>
九州陶磁文化館	在外肥前陶磁調査事業	<p>九州陶磁文化館学芸員の海外派遣調査事業</p> <p>海外の主要博物館を九州陶磁文化館の学芸員が訪問し、整理・鑑定や助言を行うことで、有田焼の展示機会の促進及びより正確な情報発信に寄与し、海外における有田焼や九州陶磁文化館のプレゼンス向上につなげることを目的としている。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査：タイ（バンコク国立博物館、ラーチャブリ国立博物館）
	国際学術・文化交流	<p>○ドイツ・ドレスデンプロジェクトへの協力</p> <p>ドレスデンプロジェクトに提供した資料解説等の原稿の修正及び追加提供。</p>
		<p>○韓国国立光州博物館との学術交流協定</p> <p>韓国の国立博物館の中で陶磁器を主なテーマとして活動を行うこととなった光州博物館と平成31年3月27日に5年間の学術交流協定を締結した。</p> <p>今後、所蔵品の相互貸借及び展覧会の実施、共同研究及び学術研究大会等の学術活動、研究者の相互訪問及び研修、学術情報及び学術刊行物の交換等、相互の陶磁器研究の発展を目的として活動を行う予定。国立光州博物館主催の特別展開催の協力を要請され準備の協力を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で展覧会開催が延期された。</p>
外国人来館者等への英語対応	<p>○2022年9月に開催されたタイ国バンコク国立博物館における展覧会「日本とタイの陶磁器交流～貿易と文化交流の永遠の伝説」展への協力。</p> <p>館蔵品の貸出。展覧会図録に掲載する原稿の提供、写真の提供。</p>	
		<p>○英語版ウェブサイト制作</p> <p>英語対応の非常勤職員を配置し、英語版ウェブサイトを制作し、外国人来館者への展示案内、展示説明等の英語表記、SNSによる海外への情報発信などを行った。</p> <p>○リニューアルに伴う展示解説の英訳</p> <p>令和4年4月リニューアルした第1展示室における解説文や館内サイン等を英文併記とし、また、文化庁の補助事業「地域と共働した博物館創造活動支援事業」により、第3展示室における解説文を英訳し、解説パネル（英文併記）を製作した。</p>

課名	事業名	内容
名護屋城博物館	国際学術・文化交流事業	<p>○韓国国立晋州博物館との交流事業 国立晋州博物館との間で締結した交流協定（平成14年度～）に基づき、展覧会・資料調査・文化財の貸与などそれぞれの事業に対して相互協力を実施。 令和4年度は、同館協力のもと、佐賀ゆかりの洪浩然に関連する史跡の視察や令和5年度に開催を予定している特別企画展にかかる遺跡等の調査を行った。</p> <p>○韓国語講座 期間：前期 令和4年5月14日～8月6日（毎週土曜日、全13回） 初級15名 後期 令和4年10月1日～2月4日（毎週土曜日、全13回） 中級18名 会場：本館 図書閲覧室 講師：本館 国際交流員 千 譽沅 備考：新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、定員を例年より減じて実施した。</p> <p>○第17回韓国語スピーチコンテストinなごや 期日：令和4年10月22日（土）13時～16時 会場：本館ホール 出場者：22名（スキット部門9組18名、スピーチ部門4名） 後援：駐福岡大韓民国総領事館、福岡韓国教育院、韓国観光公社</p>
	県内学校の日韓交流事業への協力	<p>○唐津市立名護屋小学校 内容：国際交流員による韓国文化・韓国語に関する出張授業を実施 対象及び回数：全校児童、7回</p>
	博学協働授業	<p>○県立唐津青翔高等学校との博学協働授業「日韓交流史」 ・概要：唐津青翔高等学校2年の地理歴史科に設定される学校設定科目「日韓交流史」（2単位）を、本館と学校との協働により年間を通じて運営。 平成18年度から継続。 ・対象・回数：人文・芸術系列人文コース2年生（令和4年度は11人） ・回数：22回 ・授業内容：名護屋城跡・陣跡を中心とした日韓交流史、韓国文化</p>
佐賀城本丸歴史館	外国語おもてなし事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語による館内表示 ・佐賀城本丸ボランティア外国語班による来館者への展示解説 ・中国語と韓国語の通訳ガイドによる展示概説（事前予約制）
	広報誘客事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語版ホームページによる情報発信及び外国語版館内イラストマップの配布（英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語） ・外国語音声案内ガイドシステムの運用（英語、中国語、韓国語）30台
スポーツ課	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（誘致プロモーション活動）	世界水泳選手権2023（福岡県）及び2024世界パラ陸上選手権（神戸）事前キャンプ誘致に向けたプロモーションを実施。
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（視察招聘）	世界水泳選手権2023（福岡県）及び2024世界パラ陸上選手権（神戸）事前キャンプ誘致に向け、競技関係者の招聘を実施。
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（機運醸成）	東京2020パラリンピック事前キャンプ（ニュージーランド陸上代表）の様子をまとめたパネルを、県内パラスポーツイベントで展示。 ◆イベント：パラスポーツフェスタinよしのがり ◆日時：令和4年12月4日（日）◆場所：吉野ヶ里町文化体育館
	SAGAスポーツキャンプネットワーク協議会事業（事前キャンプ受入）	令和3年度受入予定だった世界水泳（福岡）及び世界パラ陸上選手権（神戸）事前キャンプが、各大会の延期を受けてそれぞれ令和5年度、6年度に延期になったため、受入実績なし。

課名	事業名	内容
観光課	外国人観光客誘致対策事業 ((一社) 佐賀県観光連盟事業費補助)	<p>(1) 外国人観光客誘致対策事業</p> <p>○韓国観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション 13回 (国内・韓国) ・旅行会社等の招請 5件 (韓国旅行会社の支店等) ・旅行会社等とのタイアップ 6社 ・韓国語版ホームページの運営、SNS・インフルエンサー、韓国日刊紙における広告を活用した情報発信
		<p>○中国人観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション 4回 (国内) ・オンラインツアーのライブ配信 4回 (現地旅行会社) ・九州インバウンド促進相談会への参加 1回 (国内) ・在日中国ランド社県内体験型コンテンツ視察招請 ・香港向け佐賀県観光情報発信に係る動画撮影 ・HONG KONG BOOK FAIR 北部九州・山口県ブースの出展 ・簡体字版ホームページ「佐賀ー純粋日本」の運営 ・「2022 さが国際フェスタ月間」メインイベントへの参加及びブース出展 ・インバウンド向け着地型旅行商品造成販売促進 ・SNSを活用した地域連携による中国市場向け情報発信
		<p>○台湾観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション (現地航空会社、旅行会社及び国内ランド社等) ・旅行会社、台湾人プロガーとのファムトリップ ・旅行会社等とのタイアップ7社 ・現地配置スタッフによる情報収集、観光セミナー開催 ほか ・繁体字版ホームページ「元気佐賀」の運営、SNSを活用した情報発信 ・インバウンド向け観光PR動画を活用したデジタルマーケティング ・台湾向け「鉄道で巡る西九州の旅」プロモーション ・台湾旅行社による佐賀県観光プロモーション ・台湾メディアミックスプロモーション ・「楽吃購！日本」を活用した台湾向けプロモーション
		<p>○東南アジア地域観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション 8回 ・旅行会社とのタイアップ ・ファムトリップ 6回 (国内) ・シンガポール Okaer i Japan Fair 出展 ・バンコク有田焼イベント観光PRブース出展 ・シンガポール旅行会社・メディア向け九州観光セミナー&商談会参加 ・タイTITF2023出展 ・ベトナムマーケット向け観光セミナー開催 ・シンガポールNATAS20 23 出展 ・タイバンコク市内BT S MEDIA 広告 ・マレーシアMATTA Fair KL 出展 ・タイ語ポータルサイト「Trip to Saga」の運営 ・マレーシア・タイ・シンガポール市場向けSNSを活用した情報発信
		<p>○欧州地域観光客誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セールスプロモーション 4回 (国内) ・VJTM 出展及び在京ランド社等セールス ・九州グラントツアーの実施 ・北欧旅行会社向けプロモーション (シドニー、メルボルン、イギリス、フィンランド) ・英語圏の旅行雑誌などへの広告掲載、記事掲載による情報発信 ・在京富裕層向けイベントの実施 ・英語版ホームページ (Saga Trip Genius)の運営、SNSを活用した情報発信 ・高付加価値インバウンドプロモーション事業実施 (アメリカ・フランス)

課名	事業名	内容
観光課	外国人観光客誘致対策事業 (一社)佐賀県観光連盟事業費補助)	(2) 受入環境整備事業 ○観光客受入環境整備支援事業：多言語化ほか 観光施設や宿泊施設などの受入施設において、高齢者、障がい者及び外国人へのサービスを充実させるため、バリアフリー改修工事、外国語（特に英語、ハングル、中国語繁体字、簡体字）での案内表示、HPでの案内、Wi-Fi設置などを行う観光事業者に補助金を交付し、外国人観光客受入環境整備を促進(18事業者が整備)
		○観光客等サポートサービス事業 言語コミュニケーションの問題により円滑な旅行が困難な外国人観光客等をサポートするために、通訳サービスが可能なコールセンターと目的地や店舗情報などを外国語で検索ができる観光アプリ「DOGAN SHITATO?」を提供。 ・コールセンター(24時間365日対応) 対応言語：20言語 英語、中国語、韓国語、タイ語、フランス語、ベトナム語、インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ネパール語、タガログ語、マレー語、クメール語、ミャンマー語、モンゴル語、シンハラ語及びヒンディー語 ・観光アプリ「DOGANSHITATO?」 対応言語：英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、タイ語、日本語
		○多言語メニュー作成支援事業 外国人観光客が個人で周遊できる観光地とするため、飲食店のメニューを英語、韓国語、中国語で作成(10件)
	日韓海峡沿岸広域観光協議会事業	○日韓海峡沿岸広域観光協議会事業 北部九州3県及び山口県と韓国1市3道(釜山広域市、慶尚南道、済州特別自治道、全羅南道)で日韓広域観光ルート及び事業計画の検討等を行うため、第29回日韓海峡沿岸観光交流会議を開催するとともに、日韓海峡沿岸地域の観光振興のための各種事業を実施 ・日韓海峡沿岸広域観光交流会議 課長会議：R4.10月 書面会議(新型コロナウイルスによる影響のため) ・日韓相互情報発信PR事業 事業内容：日韓両地域で制作したPR動画をSNS等に掲載・情報発信することにより、両地域の観光地等の魅力を発信・PR ・韓国向け情報発信事業【日本単独事業】 事業内容：韓国の個人観光客が興味持つ北部九州3県及び山口県の観光情報映像を韓国向けに日韓海峡沿岸広域観光協議会の公式YouTubeチャンネル内の広告枠にて配信 掲載期間：R5.2月～R5.3月 対象国：韓国
法務私学課	私立中学校・高等学校運営費補助事業(教育改革推進加算)	私立中学校・高等学校における運営費の中で、「次世代を担う人材育成の促進」に関する経費について補助額の加算を行った。1校あたり840千円を上限に加算した。 ・外国人指導員の配置 ・外国の学校等との交流 ・外国への留学に係る費用の助成等
自治修習所	県職員外国語習得支援	グローバル人材の育成と、語学力向上に取り組む職員の支援のため、以下を実施した。 ・自己啓発活動支援事業(外国語検定試験受験経費助成：10名) ・自己啓発活動支援事業(語学スクール受講等経費助成：3名)
環境環境課	日韓海峡沿岸環境技術交流事業	韓国南岸1市3道(釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道)と九州北部3県(佐賀県、福岡県、長崎県)及び山口県において、環境技術、公害防止対策等に関する共同事業を実施した。 ○共同事業「日韓8県市道環境政策・研究事例発表会」の実施 R4.5.13、R4.10.25(オンライン開催)
女性男女の進歩の活躍の推進	全羅南道交流支援事業	男女共同参画分野における交流促進を図るため、友好交流協定を締結している韓国全羅南道で活動する女性団体との派遣・招へい活動を行う県内民間グループに対して助成を行う予定としていた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、募集を見送った。

課名	事業名	内容
産業人材課	産業人材ステーション事業	県庁新館1階に「佐賀県のしごと相談室」を設置し、外国人材とそれらの人材を求める企業とのマッチング支援を実施（他UJIターン転職希望者・シニア人材が対象）。相談窓口機能の強化を図るため、令和元年6月から専任相談員を配置するとともに、隔週に1日、佐賀県在住の外国人材が多く集まる国際交流プラザに派遣。令和4年度における就職支援数10名。
流通・貿易課	県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業(実施主体：(公財)佐賀県産業振興機構さが県産品流通デザイン公社)	<p>「さが県産品流通デザイン公社」が県産品のさらなる海外販路拡大を目指し、新たな販路獲得のため、以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国における佐賀酒販路拡大支援事業 ・レストランにおけるイベント、ECサイトにおける販促イベント及びSNSによる佐賀酒情報発信を実施 ・青果物の新規国タイ及びベトナムへの輸出に成功 ・香港DONDONDONKIにおける「佐賀県フェア」の開催 ・マレーシアに対するいちごさんの輸出可能性調査 ・第5回中国国際輸入博覧会（CIE2022）への佐賀酒ブース出展
	海外市場における佐賀ブランド確立事業(実施主体：(公財)佐賀県産業振興機構さが県産品流通デザイン公社)	<p>○佐賀県農林水産物等輸出促進協議会 佐賀牛や青果物等の輸出促進を図るため、JA等と連携し、海外でのプロモーション等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港・マカオ <ul style="list-style-type: none"> -展示会での佐賀県産果物の販売プロモーション -スーパーでの佐賀牛フェア、小売店及び飲食店での佐賀牛プロモーション -在香港日本総領事館主催の天皇誕生日レセプションにおける佐賀牛ブースの設置 -人気日系かき氷店舗でのいちごさんプロモーション ・台湾 <ul style="list-style-type: none"> -牛肉取扱業者訪問及びホテルでの佐賀県レセプション参加 ・タイ <ul style="list-style-type: none"> -DON DON DONKI各店舗における佐賀牛フェア -佐賀牛取扱指定店での佐賀牛プロモーション ・シンガポール <ul style="list-style-type: none"> -ホテルレストランにおける佐賀牛フェア ・フィリピン <ul style="list-style-type: none"> -佐賀牛調理方法動画作成 -新規佐賀牛取扱指定店認定式及びプレス試食会の実施 -高級ホテルにおける「佐賀牛ディナー」の実施 ・マレーシア <ul style="list-style-type: none"> -ハウスみかんフェア、いちごさんフェア ・欧州 <ul style="list-style-type: none"> -SIAL Parisにおける佐賀牛ブース出展
	香港エリア・東南アジア輸出支援体制強化事業(実施主体：(公財)佐賀県産業振興機構さが県産品流通デザイン公社)	<p>○佐賀県酒類輸出促進協議会 佐賀酒（清酒・焼酎等）の輸出促進を図るため、県酒造組合等と連携し、海外でのプロモーションを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フランス「Salon du sake」での佐賀酒PR ・ヨーロッパ最大の日本酒に特化した酒イベントにて佐賀酒ブースを出展 ・香港でのプロモーション及び業界向け試食会の開催 <p>若者に人気の香港のアートモールにて、香港のイベントであるHK Cocktail Weeksとのコラボ企画として、SAGA BARをモチーフとした「SAGA BAR in 香港」を展開。また、一般消費者向け有料のワークショップ、メディア、輸入業者及びレストラン関係者向け試飲会を実施。</p>
	貿易振興事業	<p>香港における流通レップを民間に委託することで香港にオフィス（呼称）を設置し、香港と日本の双方向からの県内事業者支援を実施するとともに、香港を中心とするエリアにおいて輸出拡大のための取組を実施した。</p> <p>○香港オフィス（呼称）による現地活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地情報（トレンド、消費者ニーズ等）の収集 ・県内事業者と現地流通業者による商談等のフォローアップ ・輸入卸業者、小売業者、シェフ等との関係構築のための営業活動 <p>○中国等における佐賀県産品の販路拡大を目的とした現地輸入業者及び卸業者との連携事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県産品中国販路拡大支援業務 ・長沙における佐賀酒の販路拡大支援 ・中国越境EC市場における佐賀酒PR事業 <p>本県における貿易の振興を図るため、ジェトロ佐賀と連携し以下を実施した。</p> <p>○佐賀県ものづくりグローバル研究会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー1回開催 <p>○貿易スキルアップ講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー5回開催

課名	事業名	内容
流通・貿易課	中小企業海外展開ステップアップ支援事業	県内中小企業の海外展開（海外販路開拓、海外進出）を促進するため、採択した県内企業の海外展開へ向けた必要な経費に対する補助を行った。 ○補助事業実施 ・対象業種：製造業、サービス業 ・支援企業数：8社 ・対象経費：補助対象経費の3分の2以内 ・補助上限：200万円/社 ・対象事業：市場調査、商談会・展示会への出展、現地での商談など、バイヤー招聘、輸送・通関（販売品を除く）、戦略策定、その他知事が必要と認める取組
	佐賀牛によるEU市場参入プロジェクト事業	佐賀県食肉センターの稼働開始（欧州輸出の認証取得）後、欧州への佐賀牛輸出がスムーズに開始できるよう、欧州での佐賀県産品の存在感を高める取組を行った。 ・欧州各国を対象とした市場調査 ・SIAL Parisへの参加 ・佐賀牛パンフレットの翻訳
	佐賀牛輸出コンソーシアム事業	佐賀県食肉センターの稼働開始（海外輸出の認証取得）に向けて、佐賀牛の輸出関係者で組織する輸出コンソーシアムの設立や輸出に向けた取組を支援。 ○SIAL Paris食品展示会への出展 令和4年10月15日から19日までの期間、フランス・パリで開催された「SIAL Paris」に参加。中央畜産会及び日本畜産物輸出促進協議会の「日本産和牛」ブースの中に出展し、佐賀牛をPR。 ○プロモーション等に活用するためのパンフレット、動画作成 完成した「佐賀県高性能食肉センター」の多言語プロモーション動画及び多言語パンフレットを製作。同施設の稼働に合わせ、今後の海外向けプロモーションでも大いに活用していく予定。
	アメリカ向け佐賀酒・茶輸出促進事業	コロナ禍において輸出量が減少した佐賀酒等のアメリカ市場への輸出量の回復・拡大を図るため、現地プロモーションや他の県産品と併せた販路開拓・輸出促進に取り組んだ。具体的にはニューヨークやサンフランシスコにおいて出張SAGA BARやSAGA SAKE WEEK等を開催し、アメリカ国内で取り扱われている佐賀酒のプロモーションを強化。これに合わせ、嬉野茶をはじめとした有田焼や加工食品等の他の佐賀県産品もPRし、販路拡大・開拓によるさらなる輸出量増加を目指した。 ○出張SAGA BAR ・Taste Japan (NY共同貿易主催) への出展（令和4年9月17日、【場所】The Altman Building・ニューヨーク） ・SAGA BAR POP UPイベント（令和4年9月19日、【場所】酒蔵（sakagura）・ニューヨーク） ・SAKE DAYへの出展（令和4年10月1日、【場所】Hotel Kabuki・サンフランシスコ） ・SAGA BAR POP UPイベント（令和5年2月1日、【場所】Brooklyn Kura・ニューヨーク） ○SAGA SAKE WEEK （一定期間レストランとコラボをしてメニュー内に佐賀酒や佐賀県産品を追加したPRの実施） ・ODO（令和4年9月16日～令和4年9月30日、【場所】ニューヨーク） ・Sake Bar Decibel（令和4年9月12日～18日ほか、【場所】ニューヨーク） ・Hana Japanese Restaurant（令和4年12月9日～31日、【場所】ソノマ地区・カリフォルニア）
水産課	日韓海峡沿岸水産関係交流事業	西日本4県（山口県・福岡県・佐賀県・長崎県）と韓国1市3道（釜山広域市・全羅南道・慶尚南道・済州特別自治道）で、資源管理の取組や養殖技術研究など海洋水産共同発展に関する情報交換等を行うことにより、日韓両地域間の相互理解と友好を深めるため、交流会議に参加。 ・日時：R4. 10. 19～21 ・場所：山口県下関市 ・出席者：韓国側11名（釜山広域市2名、全羅南道2名、慶尚南道2名、済州特別自治道3名、通訳2名） 日本側18名（山口県6名、福岡県4名、佐賀県4名、長崎県3名、通訳1名）
		○日韓漁業者による漁業現状の理解と親睦を図るため、漁業者親睦交流を実施した。 ・日時：R4. 11. 8～10 ・場所：長崎県長崎市 ・出席者：韓国側12名（漁業者9名、全羅南道2名、通訳1名） 日本側12名（漁業者6名、山口県1名、福岡県1名、佐賀県1名、長崎県2名、通訳1名） ○日韓の水産資源維持増大のため、日韓共同・双方で共通の有用な回遊性魚種（トラフグ、クロダイ等）の種苗放流を放流した。 ・日時：R4. 10. 20 ・場所：山口県下関市 ・放流数：トラフグ 2,000尾

課名	事業名	内容
教育振興課	グローバル社会で生きぬく SAGA人材づくり事業	グローバル化の進展に対応するため、小学校高学年及び中高生に国際的視野と外国語によるコミュニケーション能力を身に付けさせることにより、国際社会で活躍する人材の育成事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・中、高校生の海外留学等への助成 ・小中高を対象とする、グローバル人材育成のための講師派遣、イングリッシュ・デイ、キャンプ等の実施 ・ホストファミリーバンクの整備等による留学や海外からの学校交流の受入れ促進を実施
学校教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	本県英語教育の充実、改善のため、アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド、南アフリカから16名の青年を招致し、外国語指導助手として学校での英語指導に活用した。
	外国語指導助手指導力等向上研修	外国語指導助手を対象に、効果的な語学指導ができるような知識・指導技術を習得させるため、日本人英語教師とともに参集型で研修会を実施した。(R4.10月)

(2) 公益財団法人佐賀県国際交流協会の事業（令和4年度）

事業名	内容
情報収集・提供	外国人住民に対する地域情報の提供及びコミュニケーション支援、特に災害時や緊急時の情報発信・情報共有に役立てるため、広く県民や外国人住民が利用できる情報ネットワークを構築するとともに、ホームページやFacebook等を通じ、多言語で情報発信を行った。
情報紙「Hello Saga」の発行 (外国人向け)	外国人住民に対するコミュニケーションのため、防災・交通安全やさまざまな生活情報をやさしい日本語で記載した情報誌を作成し、外国人住民に提供した。 ・発行：年2回 各2,500部 ・配布先：賛助会員、市町、図書館、国際交流団体等
SPIRA日本語スピーチコンテスト	外国人住民の日本語学習促進のため、日本語学習の成果発表の場となる日本語スピーチコンテストを実施した。 ・日時：R4.10.9 ・参加者数：青少年部門4名、成人部門13名 意見発表部門2名 計19名
地域日本語教室支援事業	外国人住民に対するコミュニケーション支援のため、外国人住民に日本語指導を行う地域日本語教室に対し、教材費等の教室運営に要する経費の助成や広報支援を行った。 ・支援実績数：9教室
SPIRA日本語学習ボランティア研修	外国人住民が日本語を習得できる環境整備のため、日本語指導ができるボランティアを養成するための研修会を実施した。 ・日時：R4.11.19、11.29、12.15 ・講師：群馬大学 結城恵氏、ひろしま国際センター 犬飼康弘氏、久留米大学 ランプクピティア ディヌーシャ氏 ・参加者数：83名
教育支援事業	日本語学習サポーターや子ども通訳サポーターの派遣、及びサポーター養成講座を実施した。 ・派遣実績：子ども日本語学習サポーター 113件 子ども通訳・メンタルサポーター 19件 ・子ども日本語学習サポーター養成講座 日程：R4.12.15 講師：久留米大学 ランプクピティア ディヌーシャ氏 参加者数：10名
情報誌「Hello Saga」の発行 (日本人向け)	県内の国際交流・協力や多文化共生事業に関する情報誌を作成し、情報提供を行った。 ・発行：年4回 各2,500部 ・配布先：賛助会員、市町、図書館、国際交流団体等
SPIRA出前講座	異文化や多文化共生、国際協力の理解促進のため、県内在住の外国人住民や協会職員、県内民間国際協力団体の海外経験豊富な日本人を講師として派遣・紹介し、外国の習慣や文化、多文化共生に関する講座を開催した。 ・派遣件数：56件 ・派遣講師数：96名（延べ） ・受講者数：3,558名
国際交流・協力イベント事業	国際交流・協力・多文化共生に対する理解を深め、活動への参加を促すため、県内の民間国際交流団体やボランティアと協働し、国際交流・協力イベントを実施した。 ・期間：R4.10.1～31 ・場所：県内各地 ・メインイベント：R4.10.30 武雄市まちなか広場・中央公園 来場者約1,800名
多文化共生等助成事業	県内の多文化共生の地域づくりのため、県内の国際交流団体等が行う多文化共生事業、国際交流事業、国際協力事業に要する経費の一部を助成した。 ・助成件数：多文化共生事業 9件 国際交流事業（国内） 1件
多文化共生情報発信事業	地域社会全体の意識啓発や外国人住民の自立及び社会参画を促進するため、外国人住民等による多文化アート展の開催やラジオ放送を実施した。 ・ラジオ放送（えびすFM） 毎月1回（年間12回）

(3) 市町の事業（令和4年度）

市町名	事業名	事業の概要
佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・留学生奨学金給付事業 ・グレンズフォールズ市との交流 ・釜山広域市蓮堤区との交流 ・クサク村との交流 ・連雲港市との交流 ・佐賀市在住外国人懇話会 ・ウクライナからの避難民支援 【民間団体等の主催事業】 ○佐賀市国際交流協会 ・国際理解講座 ・在住外国人によるパネルディスカッション ・留学生オリエンテーション ・技能実習生のオリエンテーション ・国際家庭料理講座 ・子育て支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員（CIR）1名 ・私費留学生に対し、月額20,000円を助成（20名） ・新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度交流事業そのものを中止 ・トヒョン小児童訪問団の受入と、佐賀市内小学校児童訪問団の蓮堤区への派遣が実施され、活動の一部を支援した。また公式訪問団の受入を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・中学生生徒訪問団の派遣、クサク村からの友好親善訪問団の受入を予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・公式訪問団と経済訪問団の受入を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・佐賀市の多文化共生社会の推進と在住外国人にとって住みやすいまちづくりを推進するため、在住外国人と有識者からなる懇話会を3回開催 ・佐賀県とCSO（民間団体）と佐賀市の3者で避難民の受入支援プログラム（SAGA Ukeire Network）を構築し、避難民支援を実施 ・多文化理解・多文化共生5回開催。佐賀市内中央施設だけでなく、アウトリーチ事業として別地域でも開催した。小学校から総合学習依頼もあり、120名の児童を対象に講座を開催。宗教や食文化における習慣の違いについてのテーマなども開催。（参加者数278名） ・市内在住の外国人をパネリストとして迎え、「with コロナで感じたこと、過ごした方、学び」をテーマとし、出身国の新型コロナ感染症に対する対策の違いなどを述べた。（参加者数15名） ・西九州大学・短期大学の新入留学生を対象に、防災、交通安全などの講座を開催（参加者数82名） ・技能実習生を対象に、佐賀市と共催で、交通ルール、災害、ゴミの出し方日本文化紹介などの講座を開催（参加者数49名） ・料理を作りながら交流を深めるために、薬膳料理講座、日本料理講座など2回開催（参加者数24名） ・参加者同士のネットワークの構築に努めるために、外国に繋がる子どもと保護者を対象に、困りごとに関する相談会を開催。（参加者数14名）また、新1年生になる子どもを持つ保護者を対象に、入学準備に向けたサポートを佐賀市教育委員会と連携し開催。 ・市民団体さが♥わーどりんぐと共催で、保護者の悩みを聞く場や子ども同士の交流からネットワーク構築を図るために意見交換会やワークショップを開催（参加者数156名）

市町名	事業名	事業の概要
佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> ・バルーンフェスタホームステイ事業 ・スポーツ交流会 ・初級日本語集中講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」が新型コロナウイルス感染症で、国内のみの大会となったが、台湾チーム一機の参加があり、ホームステイのアレンジをした。 (受入人数15名) ・バドミントン、卓球、バスケット他軽スポーツを通して市民との親睦を図るために交流会を開催(参加者数37名) ・日本語学習をスムーズに進めてもらうため、在住外国人を対象に、日本語集中講座を3回開催(受講者数31名)
唐津市	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市職員相互派遣 ・日中韓囲碁大会 ・韓国麗水市との交流 ・韓国西歸浦市との交流 <p>【民間団体等の主催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○唐津市国際交流協会 ○唐津ボランティアガイド ○まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会 ○唐津日本語教室 	<p>※休止中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市である中国揚州市、韓国麗水市と囲碁を通して交流を行うもの(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・唐津市青少年の麗水市訪問(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・第13回済州国際青少年フォーラムの招請に伴うリモートでの参加(R4.11.11~11.13)(参加者数2名) ・青少年絵画交流(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・オンライン生徒会交流(R4.8.19)(参加者数 西帰浦女子中学校16名、鏡中学校5名) ・オンライン料理交流(R4.10.14)(参加者 西帰浦女子中学校1年生、唐津南高等学校生活教養課1年生) ・唐津市在住外国人の状況把握事業(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ・福岡県太宰府市での視察研修 参加者数10名(R4.12.11) ・武寧王没後1500年の節目に当たり、百済武寧王協議会の記念誌の作成(R4.7~R5.3) ・在留外国人との料理教室・交流会 参加者数20名(R5.2.26) ・やさしい日本語減災講座 参加者数24名(R5.3.11)
鳥栖市	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥栖ツァイツ子ども交流事業 ・国際交流団体との懇談会 ・こくさいカフェ ・外国人のための日本語教育事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ツァイツ市の学生を受入予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。代わりに、市内の学校3校が授業等で日本や鳥栖市のことを紹介する動画を作成しツァイツ市に送ることによって交流を行った。 ・市内の国際交流団体との会議を開催(5回) ・市内の国際交流団体との共催で「こくさいカフェ」を2回開催。1回目はグラウンドゴルフを開催(日本人及び海外5か国から103名が参加)(R4.11.6)。2回目は市内の商業施設の舞台上で各国の踊りや音楽等を披露するショーを開催。(日本人及び海外7か国から88名が参加)(R5.2.12)。 ・「生活者としての外国人」のための日本語教室を実施(全24回、外国人延べ100名/にほんごパートナー延べ56名参加)

市町名	事業名	事業の概要
鳥 栖 市	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に住む外国人のエッセイ「こんにちは鳥栖！」 ・やさしい日本語クイズ ・がいこくじんのかたへ ・出前講座 ・「やさしい日本語」職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に住む外国人のエッセイ「こんにちは鳥栖！」を市報の奇数月号に掲載 ・やさしい日本語クイズを市報の奇数月号に掲載 ・市ホームページに、生活情報や各種相談、自転車のルールなどについて、やさしい日本語と多言語で掲載 ・市職員が地域に出向き、多文化共生や「やさしい日本語」について説明（4回、参加者数①26名、②16名、③23名、④19名）（①R4.6.27、②R4.7.22、③R4.11.14、④R4.12.16） ・市役所の職員を対象に、「やさしい日本語」職員研修を開催。その際に市内の日本語学校の留学生も参加して「やさしい日本語」を使った実践での会話の練習を行った。（参加者数26名、留学生5名）（R4.11.17）
多 久 市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 【民間団体等の主催事業】 ・早稲田大学留学生地方訪問文化インターンシップ ・ボブ・ホークスカラシップ中学生海外派遣研修事業 ・多久日本語教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）3名の活用 ・早稲田大学外国人留学生受入 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】 ・㈱オニザキコーポレーションの協力により中学生2名をオーストラリアの一般家庭にホームステイ 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】 ・地域に居住された外国人に日本語の教室 週1回
伊 万 里 市	<ul style="list-style-type: none"> ○伊万里市 ・地域日本語教室 ○伊万里市国際交流協会 ・中国語教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁の令和4年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業地域日本語教育スタートアッププログラム採択（3年目）。（R4.4.1） ※日本語教室「Awesome IMARI」計8回実施。 ・第1回「伊万里の防災について」が黒川コミュニティセンターで開催、参加者36名（うち外国人20名）。（R4.9.4） ・第2回「伊万里の郵便局について」が生涯学習センターで開催、参加者30名（うち外国人16名）。（R4.9.25） ・第3回「伊万里の銀行について」が生涯学習センターで開催、参加者26名（うち外国人10名）。（R4.10.9） ・第4回「日本人との交流①バザーでものを売る」が武雄市まちなか広場で開催、参加者27名（うち外国人12名）。（R4.10.30） ・第5回「バスに乗って、買い物に行こう①」が黒川コミュニティセンターで開催、参加者27名（うち外国人14名）。（R4.11.20） ・第6回「バスに乗って、買い物に行こう②」が開催、参加者25名（うち外国人9名）。（R4.11.23） ・第7回「日本人との交流②門松を作ろう」が立花コミュニティセンターで開催、参加者51名（うち外国人25名）。（R4.12.18） ・第8回「国際交流ひろば」【講師：外国人3名（ケニア1名、タイ1名、インドネシア1名）】が黒川コミュニティセンターで開催、市内の小学生など70名が参加。（R5.1.29） ・中国語教室を市民活動支援センターで開催。講師：市多文化共生マネージャー 章潔氏。（火曜班：R4.6.7～12.13の毎週火曜日14:00～15:00、計18回、受講者6名。水曜班：R4.6.8～12.21の毎週水曜日18:30～20:00、計22回、受講者12名。）

市町名	事業名	事業の概要
伊万里市	<p>○伊万里市 ・シンポジウム</p> <p>○県日中友好協会 ・中国語スピーチコンテスト</p> <p>○県国際交流協会 ・国際フェスタ</p> <p>○伊万里市国際交流協会 ・中国語教室</p> <p>○日韓友好協会 ・クリスマスフェスタ</p> <p>○市日中友好協会 ・餃子会</p> <p>○伊万里市 ・シンポジウム</p>	<p>・市主催のフォーラム「外国人住民と共に地域防災を考える」がオンライン開催。講師は仙台観光国際協会の菊池哲佳氏、参加者 30 名。(R4. 9. 4)</p> <p>・「第 40 回中国語スピーチコンテスト佐賀県大会」が龍谷高等学校で開催。伊万里市中国語教室から計 5 名が参加。 【学生・朗読の部】：原明穂さん（第 2 位） 【一般・朗読の部】：佐藤和幸さん・吉永雅子さん（第 3 位）。 【一般・暗誦の部】：佐藤和幸さん（第 1 位） 【弁論の部】：大木早苗さん（第 3 位）。(R4. 10. 23)</p> <p>・「2023 さが国際フェスタ」が武雄市まちなか広場で開催、伊万里市と市日中友好協会が合同ブースを設置。(R4. 10. 30)</p> <p>・第 5 回「中国を知る」市民公開講座が大坪コミュニティセンターで開催。 ファシリテーター：市多文化共生マネージャー 章潔さん。 第 1 講「中国大連市について」(R4. 11. 2. 18:30～19:30、受講者数：26 名) 第 2 講「料理教室・餃子を作ろう」(R4. 11. 9. 18:30～19:30、受講者数：38 名) 第 3 講「大連市公務研修生と集う」(R4. 11. 16. 18:30～19:30、受講者数：26 名)</p> <p>・「クリスマスフェスタ」が JR 伊万里駅前公園で開催、参加者約 300 名。(R4. 12. 3)</p> <p>・市日中友好協会主催の餃子会が大坪コミュニティセンターで開催。深浦会長と大連市中日友好協会の于建軍会長とオンライン会議で新年挨拶。(R4. 11. 19)</p> <p>・伊万里市主催のシンポジウム「持続可能な地域日本語教室を目指して」が市民図書館で開催。講師は文化庁地域日本語教育アドバイザーの西原鈴子氏、仙田武司氏、高柳香代氏。参加者 39 名。(R5. 1. 17)</p>
武雄市	<p>○外国人向け相談窓口の設置</p> <p>【民間団体等の交流事業】</p> <p>○たけおワールドフレンズ (TWF) ・姉妹都市交流事業</p> <p>○ICE-T ・在住外国人との交流事業</p>	<p>・平日（土日祝日除く）の 9 時から 17 時に開設し、やさしい日本語で対応を行っている。その他の言語は、県の機関と連携し対応している。</p> <p>・セバストポール市からの訪問団の受入れ、およびセバストポール市へのたけおワールドフレンズの派遣は、令和元年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業を中止している。</p> <p>・食文化やスポーツを通じた交流イベントの開催。</p>

市町名	事業名	事業の概要
鹿島市	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国全羅南道高興郡との交流 ・釜山外国語大学校との交流 ・第38回鹿島ガタリンピック ・外国青年招致事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿島ガタリンピックに高興郡交流団が例年参加しているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い鹿島ガタリンピックが中止となり、交流は未実施 ・鹿島ガタリンピックに教授・学生が例年参加しているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い鹿島ガタリンピックが中止となり、交流は未実施 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止 ・外国語指導助手（ALT）2名の活用 （任期：R3.9.13～R5.7.31）1名、（任期：R3.10.4～R5.7.31）1名
小城市	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校外国語講師活用事業 ・小城市二十歳の式典 ・中国浙江省海鹽県との交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）の活用、民間講師7名 小・中学校の英語教育及び英語活動実施 ・式典リーフレット英語表記を追加、式典参加者388名に配布 外国人参加者0名 ・海鹽県民と小城市民の絵画・書道による交流 （海鹽県民の作品を市内公共施設および中学校で巡回展示）
嬉野市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・在住外国人向け日本語教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）1名の活用 ・国際交流員（CIR）1名の活用 ・地域日本語教室「カフェこくさいじん」を実施（月2回）
神崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流事業 ・多文化共生事業 ・韓国霊岩郡交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・友好姉妹都市フランス・ポークール市との交流 神崎市長交代に係るあいさつ文送付（R4.6） 赤い翼プロジェクト実行委員訪問対応（R4.6） 記念切手作成事業に係る推薦文作成送付（R4.7） 市民交流祭でのブース展示（R4.11） ・韓国霊岩郡 朗州（ナンジュ）中学校との交流（神崎中学校） 新型コロナウイルス感染症の影響により、訪韓は中止 神崎中学校から手紙・伝統工芸品を送付 ・韓国霊岩郡 三湖西（サムホソ）中学校との交流（千代田中学校） 新型コロナウイルス感染症の影響により、訪韓は中止 千代田中学校から手紙・伝統工芸品を送付 ・中国 山西大学附属中学校との交流（脊振中学校） 新型コロナウイルス感染症の影響により、訪中は中止 山西大学附属中学校から手紙が届く 脊振中学校から手紙・伝統工芸品を送付 ・文化庁地域日本語教育スタートアッププログラムを活用した日本語教室の試行。 （R4.8、R4.9、R4.10、R4.11、R4.12、R5.1、R5.2の7回実施） ・令和4年度に霊岩郡に王仁門を建設し、令和5年3月末に市長以下訪問団により訪韓。
吉野ヶ里町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・日本語教室スタートアッププログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）2名の活用（在留外国人講師） ・文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業地域日本語教育スタートアッププログラム活用（R3.4～） 職員研修「多文化共生について」 やさしい日本語交流会開催（R5.1月・2月）

市町名	事業名	事業の概要
基 山 町	・基山町主催日本語教室の開催	・基山町に在住、もしくは基山町内の企業、学校に通う外国籍町民を対象とした日本語教室を町主催の草スキー世界大会内で開催
上 峰 町	・日韓友好上峰町青少年驪州市訪問事業	・新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延したため、訪問事業中止
み や き 町	・日本語教室 【民間団体等の主催事業】 ・国際交流食文化交流 ・国際交流陶芸教室	・町内在住外国人を対象にした日本語教室を開催（オンライン、対面、それぞれ毎月1回） ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・民間団体の国際交流会主催により、陶芸の絵付け体験を実施。
玄 海 町	・外国青年招致事業 ・国際交流事業 ・国際理解講座 ・英語教室 ・保小連携英語活動 ・【民間団体等の主催事業】 （公）佐賀県国際交流協会主催 多文化共生理解出前講座 ・多文化共生タウンミーティング	・外国語指導助手（ALT）1名の活用 ・友好姉妹校のオーストラリアのコロワルスクール受入れ →新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため ビデオレターの交換を実施 ・友好姉妹都市の韓国釜山広域市機張郡の首長と飲食業組合長、及び交流のあるフランスグラブリーヌ町の首長・副市長と新年の挨拶状交換 ・楽しく異文化に触れることを目的とした国際理解講座を実施 計3回（死者の日、クリスマス、イースター）イベントを実施 ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・保育園及び玄海みらい学園で交流活動を実施 参加者数：39名（玄海みらい学園4年生児童） ・県国際課と共催で地域外国人住民と日本人住民が参加するやさしい日本語講座及び交流イベントを行った。

市町名	事業名	事業の概要
有田町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・英会話教室 ・英語ガイド ・日本語教室 ・保育園・ドイツふれあいタイム ・外国人対応セミナー ・ロースドルフ城関係者来町事業 ・マイセン市・意見交換会事業 ・国際交流員による来訪者案内 【民間団体の交流事業】 ○陶都有田国際交流協会 ・ドイツ親子ふれあいタイム開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT) 1名活用(R4.8月～) ・国際交流員(CIR) 1名の活用 ・有田町民などを対象に英会話教室を開催（オンラインで毎月4回） ・有田観光協会が主催する、町内の観光ガイドを対象とした英語ガイド学習会に CIR を講師として派遣（月2回） ・町内在住外国人を対象にした日本語教室を開催（オンラインで毎週1回） ・町立保育園で、年長児、年中児を対象に毎月1回ドイツのことば、文化を紹介 ・有田を訪れる外国人のお客様への応対スキル向上を図るため、有田観光協会が主催する英語講座に CIR を講師として派遣（R5.1月～3月 計8回） ・戦争により破壊された古伊万里（有田町近辺で制作された陶磁器）を現在にわたって保管・展示されているロースドルフ城（オーストリア）関係者の来町にあわせ、交流及びシンポジウムを開催。 ・姉妹都市締結44周年を前に、マイセン市で日本大使館職員とマイセン市関係者の意見交換会が開催されるにあたり、町及び町内の友好協会よりメッセージを送った。 ・ドイツなど諸外国からの表敬訪問時の通訳及び町内観光案内等 ・国際交流員により、町内の小学生とその保護者を対象にクリスマスリース作り及びドイツの習慣などの紹介を行った。
大町町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年雇用 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手1名の活用
江北町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・多文化共生交流会@江北町 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）1名の活用 ・県国際課と共催で外国人・日本人町民の交流会を行った。
白石町	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年語学指導助手設置 【民間団体の交流事業】 ・しろいし WA! WA! WA! 日本語交流教室 ・バドミントン交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）3名の活用 ・在住外国人への日本語交流教室及びイベントの開催。町とボランティア協働で活動を行う。 ・日本語交流教室の一環でバドミントン交流会を開催した。

2. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 全国の状況

(ア) 全国自治体別友好姉妹提携数（令和5年3月31日現在）

・都道府県	43都道府県	173組
・市町村	市・区	1,305組
	町・村	318組
	合計	1,796組

(イ) 全国相手国別友好姉妹提携数一覧

（令和5年3月31日現在）（単位：件）

地域名	国・地域名	都道府県	市 区	町 村	合 計
欧州	アイルランド		1		1
	アゼルバイジャン		1		1
	イギリス	4	8	4	16
	イタリア	5	27	7	39
	ウクライナ		2		2
	エストニア		1		1
	オーストリア		27	4	31
	オランダ		9	2	11
	ギリシア		5	3	8
	クロアチア		3		3
	スイス	1	9	2	12
	スウェーデン		3	1	4
	スペイン	3	9		12
	スロバキア			1	1
	スロベニア		1		1
	セルビア		1		1
	チェコ		2	2	4
	デンマーク		5	2	7
	ドイツ	6	41	9	56
	ノルウェー		3	1	4
	ハンガリー		4	1	5
	フィンランド		2	3	5
	フランス	7	39	8	54
	ブルガリア		2		2
	ベラルーシ		1		1
	ベルギー		7		7
	ボスニア・ヘルツェゴビナ			1	1
	ポルトガル		7		7
	ポーランド			2	2
	モルドバ		1		1
	ラトビア		1	1	2
	リトアニア		1		1
ルーマニア		2	1	3	
ロシア	11	33	4	48	
大洋州	オーストラリア	6	79	23	108
	ニュージーランド		30	14	44
	バブアニューギニア		1		1
	パラオ	2			2
	マーシャル諸島			1	1

地域名	国・地域名	都道府県	市 区	町 村	合 計
北米	アメリカ	27	356	77	460
	カナダ	2	42	28	72
中南米	コスタリカ		2		2
	ジャマイカ	1			1
	チリ		1		1
	パナマ		1		1
	パラグアイ		2		2
	ブラジル	11	36	11	58
	ペルー		1	3	4
	ボリビア	1			1
	メキシコ	3	5	3	11
	アジア	インド	3	3	
インドネシア		4	2	1	7
カンボジア			1	1	2
スリランカ			3		3
タイ		2	4		6
ネパール			3	1	4
フィリピン		1	13	6	20
ブータン			1		1
ベトナム		2	4	1	7
マレーシア			3	1	4
ミャンマー			1		1
モンゴル		2	6	1	9
韓国		19	119	28	166
中国		47	289	43	379
台湾		29	14	43	
中東	アラブ首長国連邦	1			1
	イスラエル		1		1
	ウズベキスタン	1	1		2
	トルコ		5	2	7
アフリカ	ウガンダ		1		1
	エジプト	1			1
	カメルーン		1		1
	チュニジア		1		1
合計		173	1305	318	1796

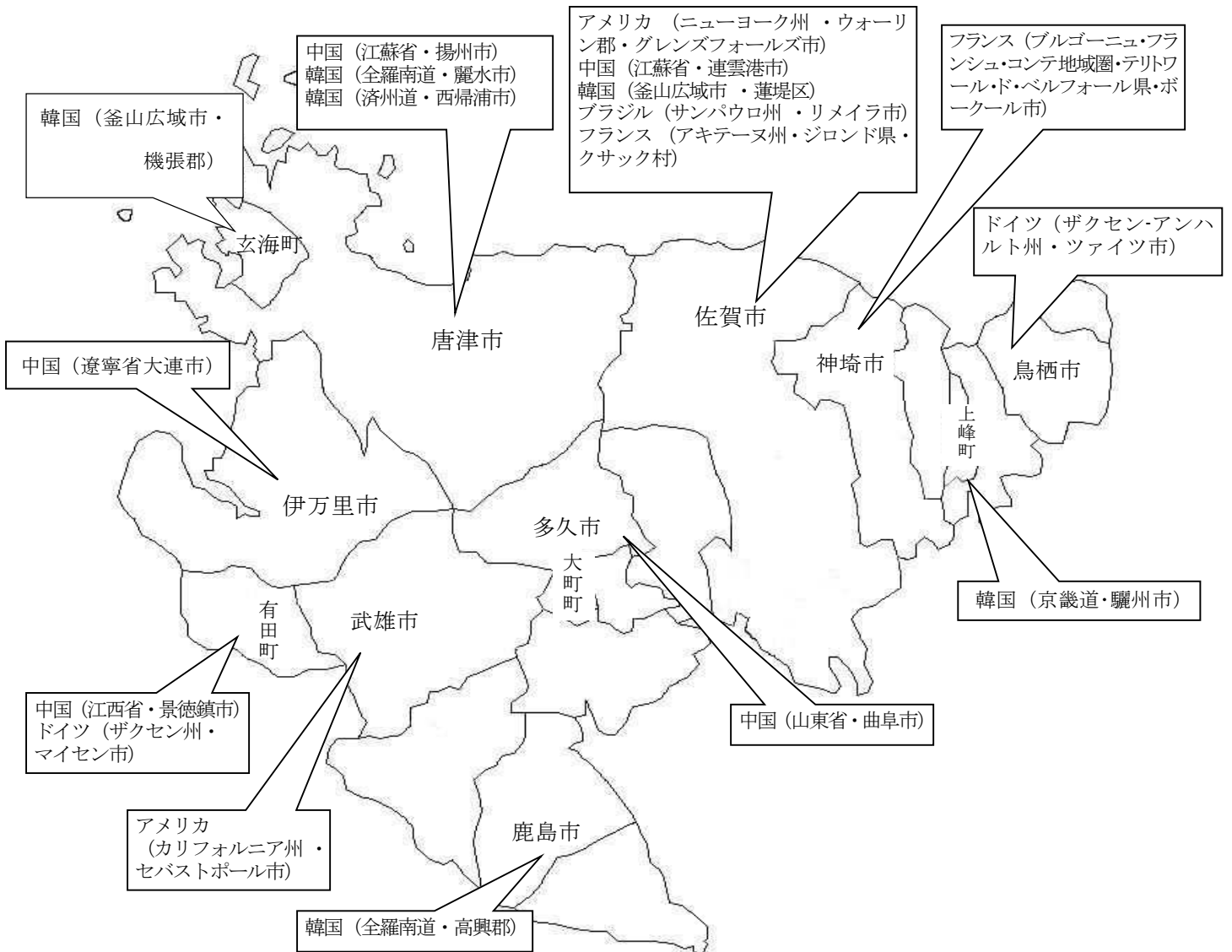
□相手国・地域数 73か国・地域（うち都道府県提携分 26か国）

調：一般財団法人自治体国際課協会

イ 佐賀県の状況

(ア) 相手国別友好姉妹提携一覧

相手国	県・市町	市町											計	
		佐賀	唐津	鳥栖	多久	伊万里	武雄	鹿島	神埼	上峰	玄海	有田		
アメリカ		1					1							2
中国		1	1		1	1						1	5	
韓国	1	1	2					1		1	1		7	
フランス		1							1				2	
ドイツ				1								1	2	
ブラジル		1											1	
計	1	5	3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	19	



(イ) 県の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要
佐賀県	韓国 全羅南道 平成23年1月25日	平成4年から日韓海峽沿岸県市道知事会議において関わりがあり、平成8年から職員の相互派遣による交流を開始し、同年には友好訪問団を派遣。これまで佐賀県から17名の職員を全羅南道に派遣し、全羅南道の職員を19名受入れている。こうした関係を踏まえ、幅広い分野での交流を目的として、友好交流協定を締結した。	朝鮮半島南西部に位置し、西は黄海に面している。入り組んだ地形に2,000余りの島々が存在する。温暖な気候で干潟があるなど自然が豊か。農業、カキや海藻の海産物の生産が盛んである。
佐賀県	*中国 遼寧省 平成23年10月25日	平成7年から交流を開始。平成11年からは職員交流を開始し、佐賀県から7名の職員を遼寧省政府に派遣、遼寧省から14名の職員の受入を行っている。こうした取組みにより、両者間の強固な関係が構築されてきたことを受け、友好協力パートナーシップの確立に関する協定を締結した。	中国東北地域の南部に位置している。省都である瀋陽市は東北部最大の都市であり、南部には港湾都市の大連市がある。主産業は重工業。
佐賀県 (参考)	*中国 貴州省 平成24年2月13日	平成11年から交流を開始し、これまで佐賀県側から農業分野での技術協力を中心に行ってきた。平成24年からは職員交流を開始し、佐賀県から3名の職員を貴州省政府に派遣、貴州省から4名の職員の受入を行っている。また、訪問団の相互派遣を行うなどして両者間の信頼関係を築いてきたことを背景とし、さらなる交流発展を目的として、友好交流に関する合意書を交わした。	中国南部の内陸に位置し、平均海拔は1,100mで平地が少ない独特の地形を成す。主産業は農業で、茅台酒(マオタイ酒)は全国8大名酒として有名。鉱工業も盛んである。

* 中国(遼寧省)については友好姉妹都市連携ではなく「友好協力パートナーシップの確立に関する協定」の締結であり、中国(貴州省)については、「友好交流に関する合意書」を交わしている。

(ウ)市町の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要
佐賀市	アメリカ ニューヨーク州 グレンズフォールズ市及び ウォーレン郡 昭和63年9月23日	昭和61年、佐賀インターナショナルバルーンフェスタに、アメリカ・グレンズフォールズ市のチームが参加したのを機に、バルーンが盛んであるという共通点に加えて、自然・歴史・文化面でも共通点が多いことから姉妹提携に至った。	ニューヨーク州の北部に位置する、人口約8万人の美しいリゾート地
	韓国 釜山広域市・蓮堤区 平成10年10月9日	民間のゲートボール交流が始まりで、10年来の交流を続けている。行政や青少年の交流の深まりを受けて、真の隣人としての友好と相互理解を期して姉妹都市の締結をした。	釜山広域市中央部に位置する人口約21万人の行政区。区庁、市庁がある。
	中国 江蘇省・連雲港市 平成10年11月27日	徐福がきっかけで、平成10年以来相互交流を続けてきた。アジアの隣人としての市政レベルでの友好促進を目指して友好都市の締結をした。	江蘇省北部・黄海に面し、上海と青島の間接地に位置する港湾都市。徐福の生誕地とされている。人口460万人余り。
	ブラジル サンパウロ州 リメイラ市 昭和56年4月16日	双方に工場を持つ「味の素(株)」が仲介役となり、姉妹都市提携に至った。リメイラ市、旧諸富町共に農業を中心とした商工都市であるという点から、お互いに多面的交流をすることにより、お互いの交流にも役立つということから姉妹都市提携した。	サンパウロ市の北方約250kmの内陸地にあり、人口28万人で主産業はオレンジ、コーヒーなどの農業が主。
フランス アキテーヌ州 ジロンド県 クサク村 昭和63年4月19日	良質なワインの産地として知られるフランスのクサク村と「どんぐり村」の開発により地域の活性化を図る三瀬村との姉妹都市提携に至った。	フランス共和国ボルドー市の北西37km、ジロンド川沿いのボック地方に広がるぶどう園地帯の真ん中に位置し、面積20km ² 、人口約2,100人、面積の約4割がぶどう園で、ワイン生産を中心とした農業が展開されている。	
唐津市	中国 江蘇省・揚州市 昭和57年2月22日	昭和47年の日中国交正常化以来、日中両国の友好促進に寄与するため、中国のいずれかの都市と友好関係を結ぶ計画がなされ、昭和53年の第1次から昭和56年の第4次まで、市、市議会、市民の各界代表を中国に派遣し、古き文化遺産と風光美の中にも生産都市としての調和を図りながら、今後一層の発展が期待される揚州市を選定し、友好都市締結に至った。	南京から長江に沿って100km下流にある人口約460万人の古都。鑑真和上ゆかりの地。
	韓国 全羅南道・麗水市 昭和57年3月5日	唐津市と麗水市は地理的にも密接な関係があり、昭和45年唐津ロータリークラブの姉妹結縁を皮切りに各種民間5団体が次々と姉妹結縁されたことにより、市民ぐるみの気運が高まり姉妹都市締結に至る。	韓国南海岸のほぼ中心に位置し、海上交通の拠点となっている美しい港町。人口約28万人。BIE認定2012麗水世界博覧会を開催。現在は韓国有数の夜景を誇る観光都市。
	韓国 済州特別自治道・西歸浦市 平成6年9月14日	平成3年、西歸浦市が下水道建設の視察で唐津市を訪れたのが始まり。その後ハウスミカン施設、水産加工施設等視察や議員団の相互訪問で親善を深め合い、人口、農産業、観光など良く似た両市は姉妹都市締結に至る。	韓国西南端の済州島にある最南端の港町。国際的なリゾート地で人口約19万人。

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要
唐津市	中国 大連市旅順口区 平成16年4月27日	平成14年に唐津港関係者が旅順口区にポートセールスのため訪れたのがきっかけとなり、以降、経済・産業各分野の交流を中心とした活動を推進してきた両市は友好交流意向書締結に至る。	大連市の6つの区の1つで、遼東半島の最南端に位置し、自然の景観に恵まれ、観光地としても力を入れている。
	アメリカ合衆国 グアム準州 平成25年7月24日	平成24年1月から始まった唐津産石材のグアム輸出事業がきっかけとなり、以降、経済・教育・文化・スポーツ・観光などの広範な市民交流の推進に向けた友好交流向書の締結に至る。	太平洋上にあるアメリカ合衆国の準州。年間100万人以上の観光客が訪れ、日本からの観光客がその多くを占める。観光が主要経済となっている。
鳥栖市	ドイツ ザクセン＝アンハルト州・ツァイツ市 友好交流都市協定 平成24年5月18日	映画「月光の夏」のモデルとなった「フツペルのピアノ」をきっかけに、ドイツ国ツァイツ市との交流が始まり、ツァイツ市長をはじめとする公式訪問団5名が本市を訪れ、友好交流都市協定を締結した。(H24.5.17～22)	ツァイツ市は、ザクセン＝アンハルト州の南に位置し、人口約3万人。第2次世界大戦前は、乳母車やピアノの工場があり、また、東西ドイツ再統一以前は、中部ドイツの化学及び褐炭地域として栄えていた。現在は、整ったインフラ構造と交通の便によるツァイツ工業団地と南砂糖株式会社が地元経済での有力企業。
多久市	中国 山東省・曲阜市 平成5年11月23日	多久市は、儒学を学んだ多久邑主・多久茂文が宝永5年に孔子廟(現在呼称多久聖廟)を完成させた。孔子の誕生の地である曲阜市との交流を図るため、昭和59年から市、市議会、市日中友好協会、市民の各界代表を中国に派遣し、文化交流を図るため、両市の友好都市締結に至った。	山東省南部に位置し、孔子の生まれ故郷とされる。人口61万人の都市。孔子を祭った孔廟や孔子一族の墓地である孔林などがある。
伊万里市	中国 遼寧省・大連市 平成19年5月26日	昭和62年の訪問を契機に代表団、友好訪問団等の相互訪問をはじめ、行政、水産、農業分野等の研修生受入などの交流を続けている。交流20周年の節目にあたり友好交流・協力関係のますますの強化を申し合わせ友好交流都市の締結をした。	遼東半島の南端に位置し中国東北部最大の港湾を有する。人口約700万人。
武雄市	アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市 昭和60年3月27日	「地球市民の会」古賀武夫氏とセバストポール市のウェンディ・グロイド氏(女性)との交流があり、その中で交流親善の話があり、似通った都市として旧山内町が選ばれ締結に至った。合併後も姉妹都市提携し、継続して交流を行っている。	カリフォルニア州の北東部に位置する人口7千人余りの市、気候は温暖でりんご・ブドウの産地として有名である。
鹿島市	韓国 全羅南道・高興郡 平成9年1月22日	鹿島市と高興郡は、同じ干潟を持つ縁で、昭和63年から「鹿島ガタリンピック」を通して毎年交流を重ね、友好結縁締結に至った。	高興郡は人口約6万5千人。自然の観光資源を活かした風光明媚な田園地域で、産業面では、ゆず、にんにく、キウイ、米、海苔、カキ、アゲマキなどの農水産業が盛んであり、観光面では多島海海上国立公園が有名。
神埼市	フランス ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地域圏・テリトワール・ド・ベルフォール県ボーケール市 平成8年10月27日	昭和11年フランスの飛行家アンドレ・ジャビー氏が脊振山中に墜落し、村民が救出したことから交流が始まり、平成7年6月には、ボーケール市を友好訪問、そして平成8年10月27日に友好姉妹都市の提携を結んだ。	フランス東部のジュラ山脈の麓(標高500m)に位置する人口約5,000人、面積5km ² の市。近隣に自動車企業(プジョー)の工場がありベッドタウンとして繁栄している。

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要
上峰町	韓国 京畿道驪州郡 平成16年11月11日 (再締結) 京畿道驪州市 平成25年9月24日	日韓剣道文化交流事業を通して知り合った驪州郡出身の大学教授に驪州郡を紹介していただき、平成13年から行政及び議会による相互交流を行い、親睦を深めてきた。上峰中学校と大神中学校による学校間交流を推進し、親密な関係を築き上げ、平成16年8月に姉妹校を締結した。数々の交流事業を重ね、相互理解と友好関係を深め平成16年11月に友好都市締結。また、驪州郡が驪州市へ昇格したことを記念し、友好都市としての交流・協力をさらに促進させていくために交流増進協定を締結。	京畿道の南東部に位置し、人口約10万5千人、面積608km ² 。美しい自然と広い平野、文化芸術が調和をなして発展してきた都市。陶磁器、米、さつまいも、梨、椎茸等の産地として韓国内でも有名。
玄海町	韓国釜山広域市 機張郡 平成21年7月25日	10年続いた民間交流を通じて、これから多岐にわたり交流していこうということで友好交流協定を締結した。	韓国南東部に位置する海沿いの街。人口10万で水産資源、観光資源が豊富。
有田町	ドイツ連邦共和国 ザクセン州 マイセン市 昭和54年2月9日 (再調印) 平成3年9月21日 平成18年9月23日	マイセン市と有田町は、今日まで両国において代表的な磁器の産地として繁栄してきた。この両市が友好を深め、陶磁器文化の交流、技術の交流を通じて国際的な親善を期待し、姉妹都市の盟約を締結。また、統一ドイツ後の新しい体制のもと、新たな出発として更に友好交流を深めるために、平成3年に姉妹締結、そして有田町と西有田町が合併し新有田町が発足した平成18年に再調印した。	ザクセン州のエルベ川沿いに位置し、首都ベルリンより南へ約140kmの距離にある。ヨーロッパ磁器発祥の地としてその名は世界的に知られており、高級磁器の代名詞にもなっている。気候は温暖であり、12世紀初頭よりブドウ栽培が盛んでマイセンワインの産地としても有名な所である。マイセン周辺は、大聖堂など有名な建造物も多く、文化財保護地域となっており、画家や写真家等の恰好の対象となるほど美しく、緑豊かな町である。
	中国 江西省・景德鎮市 平成8年8月28日	景德鎮市と有田町については、磁器の産地として世界的に知られており、歴史的にも深いつながりがある。この両市が友好交流と経済、貿易往来をさらに強化し、科学技術、陶磁、文化、教育などの各分野の交流と協力を積極的に展開することを期待し、友好都市の盟約を締結。	中国江西省の東北部に位置し、千数百年の陶磁器の歴史を持つ陶磁器の街、即ち陶都として知られている。14世紀初めに染付技法が景德鎮で完成され、景德鎮は世界の陶磁器の中心産地へと急成長を遂げた。

(注) 提携先は姉妹都市・友好都市以外を含む。

(エ)その他友好団体

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要
鹿島市	韓国 釜山外国語大学校 平成15年10月30日	鹿島市と釜山外国語大学校との交流は、第8回(平成4年)「鹿島ガタリンピック」に学生が参加したことに始まり、これまで、延べ1,000名以上の学生らが鹿島を訪れている。今後も相互の地域社会に貢献する交流を継続していくことを確認するため「官学国際交流協定」を締結した。	釜山広域市にある、4年生総合大学。昭和57年開校。外国語と外国文化に精通した人材を養成することにより、国際社会に貢献する学生を輩出することを目的とする。
有田町	韓国 (社)韓国陶磁文化協会 平成8年8月28日 (再調印) 平成19年5月3日	(社)韓国陶磁文化協会と有田については、有田陶器市期間中に開催される陶祖李参平氏を讃える陶祖祭への参拝や、韓国忠清南道鷄龍山国立公園鷄龍寺に建立した李参平顕彰碑との関わり、協会の金会長が有田町の名誉町民であるなど深い交流をしており、今後とも陶磁器文化交流と日韓友好親善増進に相互協力するため友好団体の盟約を締結。	韓国伝統の陶磁文化及び関連分野の発展に寄与し、国際的交流を通じて韓国陶磁文化を発展させることを目的に陶磁器文化の調査や研究、人的及び物的交流事業等を行う団体。

ウ 教育機関等の姉妹友好等提携交流（令和4年度）

(ア) 大学・短期大学

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (大学間)	大韓民国	全南大学校	H3. 3. 8
	タイ王国	カセサート大学	H8. 12. 6
	大韓民国	安東大学校	H9. 12. 11
	中華人民共和国	華東師範大学	H10. 5. 15
	タイ王国	コンケン大学	H10. 9. 28
	中華人民共和国	北京工業大学	H10. 12. 8
	大韓民国	国民大学校	H11. 3. 29
	中華人民共和国	首都師範大学	H11. 4. 12
	スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学	H11. 11. 30
	大韓民国	釜山大学校	H12. 2. 2
	中華人民共和国	中国農業大学	H12. 10. 17
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家農業大学	H12. 12. 7
	インドネシア共和国	ハサヌディン大学	H13. 3. 9
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ工科大学	H13. 4. 27
	台湾	輔仁カトリック大学	H13. 8. 9
	インドネシア共和国	ガジヤマダ大学	H13. 11. 1
	中華人民共和国	遼寧師範大学	H13. 11. 6
	中華人民共和国	ハルビン工業大学	H13. 11. 12
	大韓民国	釜慶大学校	H14. 4. 18
	大韓民国	済州大学校	H14. 8. 9
	インドネシア共和国	サムラツランギ大学	H14. 9. 13
	大韓民国	韓国技術教育大学	H14. 10. 8
	中華人民共和国	華東理工大学	H15. 4. 1
	フランス共和国	ブルゴーニュ大学	H15. 7. 1
	インドネシア共和国	リアウイスラム大学	H15. 7. 2
	オーストラリア連邦	ラトロープ大学	H15. 7. 31
	中華人民共和国	浙江理工大学	H16. 9. 6
	台湾	国立政治大学	H16. 9. 13
	台湾	国立中興大学	H16. 9. 14
	フランス共和国	オルレアン大学	H17. 3. 31
	タイ王国	チェンマイ大学	H17. 9. 9
	台湾	国立台北大学	H17. 10. 6
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学	H18. 3. 3
	台湾	国立東華大学	H18. 6. 30
	大韓民国	培材大学校	H18. 7. 11
	大韓民国	牧園大学校	H19. 5. 16
	インドネシア共和国	スリビジャヤ大学	H19. 6. 11
	大韓民国	大邱大学校	H19. 6. 26
	台湾	元培医事科技大学	H19. 7. 6
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学	H19. 8. 6
	カンボジア王国	プノンペン王立法経大学	H19. 8. 24
中華人民共和国	西南政法大学	H19. 10. 31	
中華人民共和国	浙江科技学院	H19. 12. 25	
タイ王国	モンクット王ラカバン工科大学	H20. 1. 3	
アメリカ合衆国	パンフィック大学	H20. 2. 29	
中華人民共和国	遼寧大学	H20. 4. 30	
インドネシア共和国	ダルマプルサダ大学	H21. 9. 4	
台湾	文藻外語大学	H21. 9. 4	

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (大学間)	ラオス人民民主共和国	ラオス国立大学	H22. 1. 26
	カナダ	ウイルフリッド・ロリエ大学	H22. 7. 13
	バングラデシュ人民共和国	ジャハンギールナガール大学	H22. 7. 26
	バングラデシュ人民共和国	チッタゴン工科大学	H22. 9. 30
	インドネシア共和国	セベラスマレット大学	H23. 3. 28
	インドネシア共和国	ジュアング大学	H23. 7. 15
	インドネシア共和国	マラン国立大学	H23. 12. 7
	インドネシア共和国	ボゴール農業大学	H23. 12. 27
	アメリカ合衆国	スリップアリーロック大学	H24. 4. 4
	オーストラリア連邦	シドニー工科大学	H24. 8. 28
	カンボジア王国	王立プノンペン大学	H24. 11. 30
	タイ王国	タマサート大学	H25. 2. 13
	バングラデシュ人民共和国	ダッカ工科大学	H25. 2. 20
	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	H25. 3. 11
	リトアニア共和国	ヴィタウタスマグヌス大学	H25. 8. 26
	フィンランド共和国	ユバスキュラ大学	H25. 11. 8
	インドネシア共和国	ブラウイジャヤ大学	H26. 4. 14
	ベトナム社会主義共和国	カントー大学	H28. 8. 21
	オランダ王国	デザインアカデミーアイントホーフェン	H28. 10. 19
	ドイツ連邦共和国	ブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学 (ハレ)	H29. 3. 30
	中華人民共和国	温州大学	H30. 5. 28
	インドネシア共和国	スラバヤ工科大学	R元. 5. 21
	台湾	国立勤益科技大学	R元. 6. 28
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校経済大学	R元. 9. 24
	スペイン王国	アルメリア大学	R4. 8. 26
	中華人民共和国	貴州民族大学	R4. 12. 19
	佐賀大学 (学部間)	*経済学部	
中華人民共和国		中国社会科学院 世界経済政治研究所	H6. 6. 30
*医学部			
アメリカ合衆国		ハワイ大学 ジョンA・バーンズ医学部	H14. 2. 14
台湾		輔仁カトリック大学 医学部	H25. 3. 15
*理工学部			
チェコ共和国		プラハ化学技術大学	H10. 7. 20
バングラデシュ人民共和国		クルナ工業技術大学	H12. 3. 1
中華人民共和国		武漢大学 電気工程学院	H14. 11. 27
ネパール		トリブバン大学 理工学部	H15. 3. 2
タイ王国		チュラロンコン大学 理学部	H15. 3. 28
大韓民国		延世大校	H17. 4. 11
タイ王国		スラナリー工科大学 工学部	H25. 2. 19
ドイツ連邦共和国		ドレスデン工科大学 科学校	H27. 3. 27
中華人民共和国		同済大学 土木工程学院	H27. 5. 7
ミャンマー連邦共和国		ヤンゴン工科大学	H27. 6. 22
大韓民国		韓国交通大学	H27. 9. 15
マレーシア		トゥン・フセイン・オン大学	H27. 12. 9
インドネシア共和国		ランブング・マンクラット大学	H28. 1. 20
フランス共和国		リール大学	H28. 12. 8
中華人民共和国		蘇州大学 材料与化学化工学部	H30. 1. 30
ベトナム社会主義共和国		チュイロイ大学	H30. 3. 7
カザフスタン共和国		カザフ建築土木高等アカデミー	H30. 7. 20
ベトナム社会主義共和国		ベトナム国家大学ホーチミン市校情報技術大学	H31. 2. 21
タイ王国		チュラロンコン大学 工学部	R元. 12. 23
インドネシア共和国		カリマンタン工科大学	R2. 1. 8

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日	
佐賀大学 (学部間)	インドネシア共和国	ブンハッタ大学	R2. 3. 18	
	インドネシア共和国	ムハマディア大学	R4. 1. 26	
	*農学部			
	マレーシア	マレーシアブトラ大学 農学部	H元. 3. 16	
	インドネシア共和国	ジェンデラル・スディルマン大学	H30. 10. 23	
	*海洋エネルギー研究所			
	中華人民共和国	大連理工大学海洋科学技術学院	H27. 1. 21	
	オランダ王国	デルフト工科大学、BLUERISE、ブルーライズ社、株式会社ゼネシス	H29. 2. 9	
	フランス共和国	レユニオンPIMENT研究所	H30. 3. 6	
	*シンクロトロン光応用研究センター			
	中華人民共和国	上海交通大学 複合材料研究所	H14. 4. 1	
	大韓民国	浦項工科大学校 浦項加速器研究所	H18. 3. 6	
	英国	リバプール大学 物理学教室	H18. 4. 1	
	ロシア連邦	ロシア研究センタークリャトフ研究所 クリャトフシンクロトロン放射光及び ナノテクノロジー研究センター	H22. 9. 9	
	中華人民共和国	上海応用物理研究所上海シンクロトロン光施設	H23. 4. 6	
	*肥前セラミック研究センター			
	大韓民国	韓国窯業技術院Icheon分院	R元. 1. 3	
	西九州大学 西九州大学短期大学部	アメリカ合衆国	アラスカ大学	H22. 8. 25
アメリカ合衆国		ニューヨーク州立大学アディロンダック校	H22. 11. 23	
大韓民国		モコン大学	H22. 12. 14	
大韓民国		大田科学技術大学	H23. 10. 7	
タイ王国		ブラパー大学	H24. 8. 27	
台湾		国立宜蘭大学	H24. 11. 7	
台湾		元培医事科技大学	H24. 11. 8	
スロベニア		リュブリャナ大学	H25. 8. 5	
大韓民国		社会福祉法人 蓮花村	H25. 9. 24	
台湾		義守大学	H25. 10. 11	
中華人民共和国		安徽三聯学院	H27. 3. 23	
中華人民共和国		厦門（アモイ）理工学院	H27. 6. 23	
中華人民共和国		中国貴州民族大学	R4. 5. 13	
大韓民国		建国大学グローバルキャンパス	H27. 6. 26	
ベトナム		ハノイ大学	H29. 9. 12	
九州龍谷短期大学 * 大学間		大韓民国	釜山女子大学	H19. 3. 6
		大韓民国	東義科学大学	H23. 7. 25
	大韓民国	釜山経商大学	H23. 11. 9	
	中華人民共和国	大連大学日本語文化学院	H25. 5. 14	
佐賀女子短期大学 * 大学間	アメリカ合衆国	アディロンダックコミュニティカレッジ	H8. 8. 9	
	アメリカ合衆国	ウィスコンシン州立大学リバーフォールズ校	H10. 12. 18	
	大韓民国	慶州大学校	H11. 11. 12	
	中華人民共和国	南通農業職業技術学院	H15. 10. 26	
	中華人民共和国	連雲港職業技術学院	H17. 6. 29	
	英国	グロスタシャーカレッジ	H20. 7. 13	
	大韓民国	蔚山科学大学	H22. 1. 15	
	大韓民国	釜山外国語大学	H27. 5. 13	
	中華人民共和国	江西外語外貿職業学院	H27. 6. 1	
	アメリカ合衆国	ハワイ大学マウイ校	H27. 8. 11	
	大韓民国	培林大学	H27. 10. 14	
	大韓民国	翰林聖心大学	H29. 4. 21	
	大韓民国	忠北保健科学大学	H29. 5. 17	

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀女子短期大学 * 大学間	大韓民国	金浦大学	H29. 6. 13
	大韓民国	馬山大学校	H31. 4. 24
	大韓民国	東義科学大学	R1. 6. 10
	大韓民国	啓明文化大学	R2. 7. 23
	大韓民国	明知大学	R2. 11. 11
	大韓民国	韓南大学	R2. 12. 18
	大韓民国	漢陽女子大学	R2. 12. 30
	大韓民国	国民大学校	R3. 1. 13
	大韓民国	慶星大学	R3. 3. 24
	大韓民国	崇実大学	R3. 5. 19
	大韓民国	漢陽女子大学	R3. 4. 21
	大韓民国	誠信女子大学	R3. 6. 17
	大韓民国	仁徳大学	R3. 7. 14
	大韓民国	大邱大学	R4. 1. 5
	大韓民国	清州大学	R4. 4. 21
	台湾	大葉大学	R4. 4. 26
	大韓民国	慶南情報大学	R4. 9. 13
	タイ王国	ランシット大学	R4. 12. 13

(イ) 高等学校

学校名	提携日・提携先	提携の経緯
佐賀東高等学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀北高等学校	平成4年3月 グレンズフォールズ高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津西高等学校	平成29年9月21日 貴州師範大学附属中学 (中国 貴州省)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度に国際交流協定締結に至った。
太良高等学校	平成30年3月7日 台湾国立成功商業水産職業学校 (中国 台湾)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。平成29年度にかけて行き来をした後、平成29年度に国際交流協約書を締結した。
唐津南高等学校	平成28年9月29日 三重高級商工職業学校 (台湾 新北市)	平成27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度に国際交流協定締結に至った。
高志館高等学校	平成30年3月 湖南園芸高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成29年度に国際交流協約を締結した。
佐賀農業高等学校	平成26年8月 全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成26年度に国際交流協定締結に至った。
佐賀工業高等学校	平成27年10月 順天(スンチョン)工業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度に国際交流協約を締結した。
有田工業高等学校	平成17年8月2日 韓国陶芸高等学校 (韓国)	陶磁器教育に関する交流を通じて情報交換を行い、両国文化の理解を深めて相互の発展をはかるために平成17年度に姉妹校交流を締結した。

佐賀商業高等学校	平成7年7月4日 ハートリー・ルザン高校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
	平成28年11月1日 筏橋商業高等学校 (韓国 全羅南道)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。3年間相互交流を続ける中で、平成28年度に交流協約書を締結した。
唐津商業高等学校	平成24年7月22日 麗水情報科学高等学校 (韓国 全羅南道)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に国際交流協約書を締結した。
白石高等学校 商業科キャンパス (杵島商業高等学校)	平成27年12月23日 順天青岩(チョンアム)高等学校 (韓国 全羅南道)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中、3度目の訪問の際に国際交流協約書を締結した。
牛津高等学校	平成25年12月 リセ・オテルリ (フランス パリ)	生徒のフランスへの留学先として関係機関より紹介された。
	平成27年12月 上海現代職業技術学校 (中国 上海市)	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成27年度に国際交流協定締結に至った。
鳥栖商業高等学校	令和3年3月31日 桃園市立中壠商業高級中等學校 (台湾)	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し採択された。平成29年から令和元年にかけて相互交流を続ける中で、令和2年度に国際交流協定書を締結した。
神埼清明高等学校	令和元年12月 新北市立鶯歌高級工商職業学校 (中国 台湾)	平成27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。現地への訪問を続ける中で、令和元年に、国際交流協約書締結に至った。
嬉野高等学校	平成26年5月 第一中東職業技術専門学校 (中国 遼寧省)	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。2回目の訪問で、友好交流に関する覚書を締結した。

唐津青翔高等学校	平成20年1月14日 釜山外国語大 （韓国 釜山市）	玄海町国際交流協会の活動を通じ、本校と釜山外国語大との交流が提案され、九州で初となる大学・高校間の姉妹締結協定が調印された。
学校法人佐賀龍谷学園 龍谷高等学校	平成10年3月27日 レイクジョージ高校 （アメリカ ニューヨーク州）	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
学校法人旭学園 佐賀女子短期大学附属 佐賀女子高等学校	平成14年1月11日 善徳(ソンドク)女子高校 （韓国 慶州(キョンジュ)市）	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、平成13年3月に職員を派遣し視察。7月に善徳女子高校より来校され、提携協定を結ぶ予定であったが、教科書問題等で延期。平成14年1月に来校。提携校協定を結ぶ。
学校法人佐賀学園 佐賀学園高等学校	昭和56年4月1日 永登浦(ヨンドンポ)工業高校 （韓国 ソウル特別市）	佐賀新聞社の紹介により締結
学校法人江楠学園 北陵高等学校	平成2年11月17日 サザンアディロンダック職業訓練学校 （アメリカ ニューヨーク州）	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
学校法人東明館学園 東明館高等学校	平成27年4月27日 信男教育学園上海文来高等学校国際部中日班 （中国 上海市）	平成26年1月20日佐賀県国際・観光部おもてなし課から依頼があり文化交流会を実施。文化交流会をきっかけに本校への編入学に関する協定を締結。

(ウ) 中学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀大学教育学部 附属中学校	平成28年2月 香港聖公会林護中学校 (中国 香港)	平成26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」をに応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度、MOUを締結した。
唐津東中学校	平成29年11月6日 董玉娣中学校 (中国 香港)	平成27年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中で、友好交流に関する覚え書きを締結した。
武雄青陵中学校	平成27年3月4日 麗水華陽(ファヤン)中学校 (韓国 全羅南道)	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加。相手校の受入に引き続き、同年度内に相手校を初めて訪問した際、協定締結を行った。
佐賀市立 成章中学校	平成10年11月17日 ウォーレンズバーグ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 城南中学校	平成10年3月27日 レイクジョージ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 昭栄中学校	平成2年11月17日 ハードリー・ルザーレン中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 城西中学校	平成元年5月22日 グレンフォールズ中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 鍋島中学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー中学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津市立 第一中学校	平成8年11月16日 麗水中学校 (韓国 全羅南道)	昭和57年に唐津市と麗水市の姉妹都市締結を受け、両市の教育発展と友好親善に寄与するため姉妹校締結。

<p>武雄市立 山内中学校</p>	<p>平成5年3月 ブルックハイブン中学校 (アメリカ カリフォルニア州 セバスト ポール市) 平成23年4月16日 (再調印)</p>	<p>昭和60年3月にセバストポール市と山内町が国際 姉妹都市友好提携協定書を交わしたことをう け、ブルックハイブン中学校との姉妹校盟約書 を交わす。山内町が武雄市と合併後の平成23年4 月16日に武雄市、セバストポール市との姉妹都 市締結の再調印。</p>
<p>神埼市立 神埼中学校</p>	<p>平成28年11月15日 朗州中学校 (韓国 全羅南道)</p>	<p>平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交 流推進事業」に応募し、採択された。交流を開 始した年に、姉妹校締結協議書を締結した。そ の後隔年で、お互いの学校を訪問し、交流会を 行っている。</p>
<p>神埼市立 千代田中学校</p>	<p>平成28年11月9日 三湖西中学校 (韓国 全羅南道)</p>	<p>平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交 流推進事業」に応募し、採択された。神埼市に ある王仁神社と韓国の王仁博士との関係で、神 埼市中学校と大韓民国の姉妹校締結を行うこと になった。平成27年10月23日に神埼市から韓国 事前訪問を行い、仮締結した。平成28年11月9日 千代田中学校に、韓国から訪問され、本締結と 交流を行った。</p>
<p>神埼市立 脊振中学校</p>	<p>平成元年10月1日 山西大学附属中学校 (中国 山西省)</p>	<p>締結年度の前年度に、スッポン養殖研究で脊振 村(当時)に滞在していた3人の中国人研究者と 中学校との交流会がきっかけとなった。心温ま る歓迎に感激された研究者が中国側の橋渡し役 になり、また、本校においては、日本赤十字社 佐賀県支部の協力を受けて姉妹校の締結及び相 互の親善訪問が実現した。</p>
<p>上峰町立 上峰中学校</p>	<p>平成16年8月27日 大神(テイシン) 中学高等学校 (韓国)</p>	<p>昭和55年より剣道愛好者による民間交流が始ま る。平成13年に上峰町長及び議員がヨジュ郡を 表敬訪問。ヨジュ郡からの来町も繰り返され た。平成15年、日韓友好上峰町青少年ヨジュ郡 訪問事業開始。平成16年姉妹校締結。</p>
<p>玄海町立 玄海みらい学園</p>	<p>平成29年8月10日 コロワルスクール (オーストラリア シドニー)</p>	<p>前教育長が国際交流を推進しており、数年前か らコロワルスクールとは交流をしていた。その 交流の一環として。</p>

(エ) 小学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯
佐賀市立 勸興小学校	平成元年5月22日 サンフォード・ストリート小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 循誘小学校	平成2年11月17日 ウオーレンズバーグ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 嘉瀬小学校	平成2年11月17日 ハードリー・ルザーレン小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 鍋島小学校	平成2年11月17日 クイーンズベリー小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 金立小学校	平成元年5月22日 ビッグクロス・ストリート小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 久保泉小学校	平成2年11月17日 レイクジョージES校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
佐賀市立 芙蓉小学校	平成元年5月22日 ジャクソンハイツ小学校 (アメリカ ニューヨーク州)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウオーリン郡との姉妹都市交流の一環として。
唐津市立 名護屋小学校	平成11年10月20日 萬徳初等学校 (韓国)	名護屋城博物館特別企画展「日韓ふれあい伝統芸能」の団員であった萬徳初等学校校長より相互訪問・ホームステイ交流の要請があり、翌年平成12年より相互訪問の交流が始まった。名護屋小学校PTAの事業として交流を行っていた。
鹿島市立 北鹿島小学校	平成22年8月4日 大西(テソ)初等学校 (韓国 全羅南道高興(コフン)郡)	鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受入を行う。

(オ) その他の交流状況

○ロータリークラブ・ライオンズクラブ・青年会議所・商工会議所・その他

団 体 名	相 手 団 体 名	国 名	提携年月日
佐 賀ロータリークラブ	南釜山ロータリークラブ	韓 国	S48. 3. 24
佐賀西 "	岡 山 "	台 湾	S54. 2. 27
佐賀北 "	豊原西北 "	"	H 4. 6. 9
唐 津 "	麗 水 "	韓 国	S45. 11. 6
	大 甲 "	台 湾	S51. 11. 28
唐津中央 "	麗水閑麗 "	韓 国	H11. 11. 11
唐津西 "	浦 項 "	"	S49. 6. 13
	麗水左水營 "	"	S52. 3. 16
	唐津 "	"	S59. 4. 2
唐津東 "	員林 "	台 湾	S50. 2. 20
鹿 島 "	北斗 "	"	S55. 3. 13
佐賀ライオンズクラブ	晋州ライオンズクラブ	韓 国	S48. 10. 17
佐賀葉がくれ "	台北市第一（中央）国際獅子會	台 湾	S46. 2. 9
佐賀若楠 "	ソウル平和ライオンズクラブ	韓 国	S58. 8. ~
鳥栖養基 "	新馬山 "	"	S55. 1. 19
嬉 野 "	鎮 海 "	"	S54. 3. 17
佐賀青年会議所	新營青年会議所	台 湾	S60. 5. 24
唐津 "	麗水 "	韓 国	S46. 5. 5
唐津商工会議所	麗水商工会議所	韓 国	S52. 5. 10
社会福祉法人めぐみ厚生センター	韓国社会福祉法人「手と手」	韓 国	H3. 7. 8
松浦文化連盟・麗水文化団体	韓国芸術文化総連合会 麗水支部	韓 国	S56. 12. 13

(2) 世界の諸地域との交流

佐賀県からの海外移住は、明治20年代から始まり、当初はハワイ、アメリカ合衆国が主であったが、次第にブラジルへの移住が増加し、大正から昭和にかけてブラジルをはじめ、メキシコ、ペルー、ボリビア等、南米各地に多くの県民が渡航した。

ア 市町別移住者数一覧

(単位：人)

移住先 市町名	アメリカ	カナダ	メキシコ	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	パラグアイ	ボリビア	フィリピン	カレドニア ニュー	ウルグアイ	不明	合計
佐賀市	145	17	15	275	70	22	39	22		2			607
唐津市	15	6	8	457	4	3	4	1					498
鳥栖市	37	6	8	32	10	2	6						101
多久市	17		2	136	5	14		1					175
伊万里市	10	3		200	7	2	15	4					241
武雄市	16	6	4	116	9	8	4	11					174
鹿島市	10	4	2	145	6	26				2			195
小城市	20	2	2	49	15	8	4	11	2				113
嬉野市	11	1	1	202	1	6		2	3	4			231
神埼市	25	1	5	104	6	2		2	5	1			151
吉野ヶ里町	1		1	73	9	1							85
基山町	6		3	9	6	2							26
上峰町	27			18	6		5						56
みやき町	71	8	8	80	23	2		1	6			1	200
玄海町													0
有田町				76		1							77
大町町	1		1	110	6	34	11						163
江北町	2	1		27									30
白石町	17	4	7	191	5	7	5		1				237
太良町	1			64									65
小計	432	59	67	2,364	188	140	93	55	17	9	0	1	3,425
出身地不明	325	1	1	48	7	3	2		70		1	1	459
合計	757	60	68	2,412	195	143	95	55	87	9	1	2	3,884

調：農業振興課「佐賀県海外移住史」

イ 在外県人会

海外移住者及びその子孫、本県出身海外駐在員等により20ヶ所（14ヶ国）に県人会があり、各種活動を行っている。

R4. 5月現在

地域	国名	団体名（日本語）	団体名（現地名称）	創立年	会員数
南米	ブラジル	ブラジル佐賀県文化協会	ASSOCIAÇÃO CULTURAL ESPORTIVA E BENEFICENTE SAGAKEN DO BRASIL	1955 (S30)	200名
	アルゼンチン	アルゼンチン佐賀県人会	ASOCIACION SAGA EN LA ARGENTINA	1976 (S51)	70名
	パラグアイ	パラグアイ佐賀県人会	PARAGUAY SAGA KENJINKAI	1957 (S32)	9家族
	ペルー	ペルー佐賀県人会	Asociacion Peru Saga Kenjinkai	1980 (S55)	122名
	ボリビア	ボリビア国佐賀県人会	ASOCIACION. DE. PRV, SAGAKEN BOLIVIA	1960 (S35)	56名
北米	アメリカ	南カリフォルニア佐賀県人会	Saga Prefectural Association of Southern California	1905 (M38)	18名
		ハワイ佐賀県人会	Hawaii Saga-Kenjinkai	1979 (S54)	11名
		NYばってん会	NY Batten Kai	1999 (H11)	78名 (佐賀出身者 16名)
		北カリフォルニア佐賀県人会	Saga Kenjin Kai of Northern California	2009 (H21)	25名
アジア	タイ王国	泰国佐賀県人会 (かちがらすの会)	SAGA ASSOCIATION OF THAILAND	1990 (H2)	54名
	中国	香港佐賀県人会	香港佐賀県人会	1995年頃 (H7頃)	12名
		北京佐賀県人会	北京佐賀県人会	2015 (H27)	10名
		上海佐賀県人会	上海佐賀県人会	2002 (H14)	40名
		台湾佐賀県人会	台湾佐賀県人会	2017 (H29)	25名
		シンガポール	佐賀県人会 葉隠会	Hagakure-Kai	1984 (S59)
	マレーシア	マレーシア佐賀県人会	ムツゴロウ会	2013 (H25)	19名
	インドネシア	ジャカルタ県人会	佐賀県人会	2005 (H17)	12名
	韓国	ソウル佐賀人会	서울사가모임 (ソウル佐賀集まり)	1990年代	20名
	ベトナム	ホーチミン葉隠会	ホーチミン葉隠会	2015 (H27)	20名
欧州	フランス	パリ佐賀県人会	パリ佐賀県人会	2013 (H25)	23名

4. 国際化推進のための環境づくり

(1) 語学指導等を行う外国青年招致事業

(JET プログラム : The Japan Exchange and Teaching Programme)

地方公共団体が総務省、文部科学省、外務省及び一般財団法人自治団体国際化協会（CLAIR）の協力の下、外国青年を招致し、中・高校等における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的としている。

この事業は職種により、国際交流員（CIR）、外国語指導助手（ALT）及びスポーツ国際交流員（SEA）に分けられ、CIRは国際交流活動に従事し、地方公共団体の行政部門に配置される。ALTは語学指導に従事し、主に教育委員会、または公立中・高等学校、あるいは私立中・高等学校に配置される。SEAはスポーツを通じた国際交流活動に従事し、主に地方公共団体に配置される。

ア 年度別招致状況

JET 青年招致人数推移

	県				市 町 等				合 計			
	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計
H9年度	2	26		28	1	56		57	3	82		85
H10年度	2	28		30	2	57		59	4	85		89
H11年度	3	29		32	2	60		62	5	89		94
H12年度	3	29		32	2	62		64	5	91		96
H13年度	3	30		33	2	63		65	5	93		98
H14年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H15年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H16年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
H17年度	3	29		32	3	64		67	6	93		99
H18年度	3	28		31	3	60		63	6	88		94
H19年度	3	27		30	3	50		53	6	77		83
H20年度	3	14		17	2	41		43	5	55		60
H21年度	3	9		12	2	35		37	5	44		49
H22年度	3	6		9	2	33		35	5	39		44
H23年度	3	16		19	2	31		33	5	47		52
H24年度	3	16		19	2	30		32	5	46		51
H25年度	4	16		20	2	26		28	6	42		48
H26年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H27年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H28年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
H29年度	4	16	1	21	2	24		26	6	40	1	47
H30年度	4	16	1	21	2	23		25	6	39	1	46
R元年度	5	16	1	22	2	23		25	7	39	1	47
R2年度	4	13		17	2	17		19	6	30		36
R3年度	4	16		20	3	14		17	7	30		37
R4年度	4	16		20	3	14		17	7	30		37

※「市町等」欄には市町教育委員会の他、私立学校(H2～H18年度、R1～4年度各年度 ALT 1名を配置)を含む。

イ 外国青年招致事業による招致青年の配置状況（令和4年度）

○ 国際交流員（CIR）

配 置 先		R4 人数
県	佐賀県国際課	3
	名護屋城博物館	1
市町等	佐賀市国際課	1
	有田町商工観光課	1
	嬉野市観光商工課	1
合 計		7

○ 外国語指導助手（ALT）

配 置 先		R4 人数
県	佐賀県教育委員会学校教育課	16
市町等	唐津市教育委員会	4
	武雄市教育委員会	3
	鹿島市教育委員会	2
	玄海町教育委員会	1
	嬉野市教育委員会	1
	有田町教育委員会	1
	江北町教育委員会	1
	松尾学園	1
	合 計	30

出典：県国際課調

※「R4 人数」は R4.5 月の配置数（新型コロナウイルス感染症の影響で来日が遅れたため）。

(2) 外国語教育

ア 県立高校における留学生受入校及び受入人数 (1か月以上)

	学 校 名	R元	R2	R3	R4		学 校 名	R元	R2	R3	R4
1	鳥 栖	1			1	20	唐 津 南				
2	三 養 基					21	伊万里農林				
3	神 崎					22	佐 賀 農 業	1		1	1
4	佐 賀 東					23	鳥 栖 工 業				
5	佐 賀 西					24	佐 賀 工 業				
6	佐 賀 北			1	1	25	唐 津 工 業				
7	致 遠 館			1	1	26	有 田 工 業				
8	小 城		1			27	塩 田 工 業				
9	唐 津 東					28	鳥 栖 商 業				
10	唐 津 西				1	29	佐 賀 商 業				
11	巖 木					30	唐 津 商 業				
12	唐 津 青 翔					31	伊万里商業				
13	伊 万 里				1	32	杵 島 商 業				
14	武 雄	1	1			33	鹿 島 実 業				
15	白 石	2				34	神 崎 清 明				
16	鹿 島					35	多 久				
17	太 良					36	嬉 野				
18	牛 津			1	1	受 入 校 数		4校	2校	4校	7校
19	高 志 館					留 学 者 数		5名	2名	4名	7名

調：県教育委員会事務局教育振興課

イ 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況 (令和4年度)

学 校 名	学科・コース名	ク ラ ス 数	生徒数 (定員)	コースの 設置年
佐賀商業高等学校	グローバルビジネス科	1	40	平成30年

調：県教育委員会事務局教育振興課

ウ 県立高校における英語以外の外国語の取組状況（令和4年度）

学 校 名	科 目	開始年度
佐 賀 商 業	中国語入門（3年生選択／2単位） ハングル入門（3年生選択／2単位）	H4 H17
唐 津 商 業	ハングル入門（3年生選択／3単位）	H4
三 養 基	中国語Ⅰ（3年生選択／2単位）	H8
佐 賀 北	中国語入門（3年生選択／4単位） ハングル入門（3年生選択／4単位）	H8 H13
嬉野（嬉野校舎）	中国語入門（1年生選択／2単位） 中国語基礎（2年生選択／2単位）	H13 H21
唐 津 青 翔	韓国文化（3年生選択／2単位） 韓国語Ⅰ（1・2年生選択／6単位） 韓国語Ⅱ（3年生選択／2単位）	H17
佐 賀 農 業	韓国語入門（3年生選択／2単位）	H26
白石（商業科キャンパス）	韓国語入門（3年生商業科マーケティングコース／2単位）	R2

調：県教育委員会事務局学校教育課

エ 県立高校における海外修学旅行の実施状況（令和4年度）

学 校 名	渡 航 先	内 容	人 数
該当校なし			

調：県教育委員会事務局学校教育課

オ 海外の学校との交流状況

(ア) 高等学校

学校名	相手校	提携校	提携の経緯	令和4年度の交流状況
佐賀北高等学校	タピオラ高校 (フィンランド)		令和3年度に東京2020オリパラホストタウン事業として国際課からの紹介	【メールによる交流】 2学期に本校のESS部とタピオラ高校で美術を専攻している生徒と交流を行った。本校の生徒が日本のおとぎ話を英語で書き、それをフィンランドにメールで送り、タピオラ高校の生徒がそれをもとに絵をかき漫画を作ってくれた。フィンランドの人たちの世界観で描かれており、それを見た生徒たちの感想をメールで返信した。
唐津南高等学校	三重高級商工職業学校 (台湾 新北市)	◎ H28. 9. 29	平成27年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度に国際交流協定締結に至った。	【英語での学校紹介ビデオの送付】 アップロード日：R5.3 (限定公開) 参加人数：10名 内容：本校の学科紹介や唐津の紹介を英語で行い、動画を作成し、相手校に送付した。
高志館高等学校	湖南園芸高等学校 (韓国 全羅南道)	◎ H30. 3	平成25年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成29年度に国際交流協約を締結した。	【オンライン交流】 交流日：R4. 11. 22 参加人数：高志館高校7名 湖南園芸高校生徒7名 交流内容：学校紹介、ディスカッション「お互いの学校生活について」、グループ交流
	シャパレル高校 (アメリカ合衆国アリゾナ州)		教育振興課からの紹介	【メールによる交流】 日常での出来事や季節の行事や過ごし方などについてグループや個人間で日本語と英語を交えてメールによる交流を行った。 【参加生徒】 アメリカ：日本語の授業を選択している生徒6名 日本：交流を希望した2～3年生6名 交流内容：学校紹介、フリートーク
佐賀農業高等学校	全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	◎ H26. 8	平成24年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成26年度に国際交流協定締結に至った。	【オンライン交流】 本校で韓国語を学習している3年生9名が韓国の生徒とオンラインでお互いの学校や伝統文化などを紹介し合った。
三養基高等学校	貴州省貴陽市第十中学校 (中華人民共和国)		国際課からの紹介	【オンライン交流】 本校で中国語を学習している3年生9名が中国の生徒とオンラインでお互いの学校や伝統文化などを紹介し合った。
有田工業高等学校	韓国陶芸高等学校 (韓国)	◎ H17. 8. 2	陶磁器教育に関する交流を通じて情報交換を行い、両国文化の理解を深めて相互の発展をはかるために平成17年度に姉妹校交流を締結した。	令和4年9月に本校から陶芸作品14点を送り、令和5年2月に先方からの陶芸作品10点を展示し作品交流を行った。
佐賀商業高等学校	韓国大一観光高等学校 (韓国)		平成30年度に教育振興課からの紹介。	【オンライン交流】 交流日：①R4. 6. 6②R4. 11. 8 交流人数：①40名②40名 交流内容：学校紹介や国と地域の紹介、文化紹介、ペアやグループでの対話交流を行った。 【受入交流】 交流日：R5. 1. 17 受入人数：生徒9名、引率1名 交流内容：書道交流
	筏橋商業高等学校 (韓国 全羅南道)	◎ H28. 11. 1	平成26年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。3年間相互交流を続ける中で、平成28年度に交流協約書を締結した。	【オンライン交流】 交流日：R4. 11. 30 交流人数：80名 交流内容：学校紹介や国と地域の紹介、ペアでの対話交流を行った。

白石高等学校 商業科キャンパス (杵島商業高等学校)	求禮(クレ)高等学校 (韓国 全羅南道)		全羅南道教育庁の原田実様の 斡旋により。	【オンライン交流】 交流日：①R4.10.25 ②R4.12.20 参加人数：21名 交流内容：①自己紹介など30分程度②学 校紹介・グループに分かれてフリー・ トークなど60分程度
鳥栖商業高等学校	中壙高級商業高級中等学校 (中 国 台湾)	◎ R3.3	平成28年度に「世界とつなが る佐賀県青少年交流推進事 業」に応募し採択された。平 成29年から令和元年にかけて 相互交流を続ける中で、令和 2年度に国際交流協定書を締 結した。	【オンライン交流】 実施日：①R5.1.12 ②R5.2.24 参加人数：①8名 ②8名 内容：①相手校の先生による台湾の歴 史、中国語講座 ②中国語による自己紹 介、日本の伝統工芸(水引)を通じた交 流、意見交換会、写真撮影
	デイル観光高等学校 (韓国 ソウル市)		相手校が毎年インターンシッ プで来日されており、その期 間中に交流をしたいという希 望があったため。	【受入交流】 実施日：R5.1.13 受入人数：生徒9名、引率者1名 内容：お互いの学校紹介、学校施設案 内、日本の伝統工芸(水引)を通じた交 流、文化の違いに関する情報交換 【オンライン交流】 実施日：①R4.7.6 ②R4.11.1 参加人数：①35名 ②32名 内容：情報交換(お互いの地域につい て、文化の違いについて)
武雄高等学校	ライナールトカレッジ (オランダ、フルスト市)		東京オリパラホストタウン事 業	【オンライン交流】 R5.1.19~20 ・互いの国について、Kahoot!を使って クイズ ・互いの国・地域についてディスカッ ション ・気候変動の影響と対策についてのディ スカッション ・環境保護を訴えるチラシづくり ※以上全てをzoomを用いたオンライン交 流にて行った。
学校法人旭学園 佐賀女子短期大学附 属 佐賀女子高等学校	善徳(ソンドク)女子高校 (韓国 慶州(キョンジュ)市)	◎ H14.1.11	佐賀女子短大の提携先である 慶州大学から、同じ慶州市の 善徳女子高校が本校との交流 を希望されていると伝えら れ、平成13年3月に職員を派 遣し視察。7月に善徳女子高 校より来校され、提携協定を 結ぶ予定であったが、教科書 問題等で延期。平成14年1月 に来校。提携校協定を結ぶ。	【手紙による交流】 コロナ禍のため、対面での交流はできな かったが手紙による交流に生徒96名の希 望があり実施した。

(イ) 中学校

学校名	提携先・提携日	提携校	提携の経緯	令和4年度の交流状況
佐賀大学教育学部 附属中学校	香港聖公会林護中学校 (中国 香港)	◎ H28. 2	平成26年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、平成28年度、MOUを締結した。	日時：令和5年3月17日(金) 16:00~17:45 参加者：本校2年生10名、1年生11名 計21名 林護中 20名程度 交流方法：オンライン (Zoom) 交流内容：テーマについての発表 ①学校生活・制服 ②ポップカルチャー ③SDGs 関連 ④世界平和、戦争
佐賀市立 鍋島中学校	新竹市立光武國中学校 (台湾)		佐賀市八戸溝郵便局長より鍋島中の1年生に、「手紙の書き方」指導の一助として手紙での交流を紹介していただき、交流を行った。	【手紙による交流】 ・新竹市立光武國中学校について、パワポで紹介してもらい、手紙・しおりセットのプレゼントをもらう。その後、英語で手紙を書く。お礼に使用済み切手と便せんプレゼントを贈った。
唐津市立 鏡中学校	韓国済州島ソギボ女子中学校		西歸浦市との姉妹都市の関係により、唐津市地域交流部・地域づくり課からの依頼があり実施に至った。	【オンライン交流】 交流日 R4. 8, 19 交流人数8人(生徒会) 交流内容：生徒会活動の内容を中心に発表や意見交換を行った。
鳥栖市立 田代中学校	ドイツ ツァイツ市		鳥栖市とツァイツ市との姉妹都市交流の一環として。	学校で作成した日本文化や本校の学校生活の様子を紹介する動画を送る。
鳥栖市立 鳥栖西中学校	ドイツ ツァイツ市		鳥栖市とツァイツ市との姉妹都市交流の一環として。	【DVDの送付】 ・鳥栖市の紹介DVDを作成し、ツァイツ市に送付する。
神崎市立 神崎中学校	朗州中学校 (韓国 全羅南道)	◎ H28. 11. 15	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、姉妹校締結協議書を締結した。その後隔年で、お互いの学校を訪問し、交流会を行っている。	生徒代表が、自身で学習した韓国語を用いて、学校紹介の手紙を送り、交流を行った。
神崎市立 千代田中学校	三湖西中学校 (韓国 全羅南道)	◎ H28. 11. 9	平成28年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。神崎市にある王仁神社と韓国の王仁博士との関係で、神崎市中学校と大韓民国の姉妹校締結を行うことになった。平成27年10月23日に神崎市から韓国事前訪問を行い、仮締結した。平成28年11月9日千代田中学校に、韓国から訪問され、本締結と交流を行った。	本市の伝統工芸である「尾崎人形」と佐賀県の伝統工芸である有田焼に加え生徒の手紙(韓文)を送り、交流を行った。
神崎市立 脊振中学校	山西大学附属中学校 (中国 山西省)	◎ H元. 10. 1	締結年度の前年度に、スッポン養殖研究で脊振村(当時)に滞在していた3人の中国人研究者と中学校との交流会がきっかけとなった。心温まる歓迎に感激された研究者が中国側の橋渡し役になり、また、本校においては、日本赤十字社佐賀県支部の協力を受けて姉妹校の締結及び相互の親善訪問が実現した。	手紙による交流(年賀状)

<p>小城市立 芦刈中学校</p>	<p>中国浙江省海鹽県の学校 (中国浙江省)</p>	<p>昭和56年、日中農業農民交流協会の事業として農業研修生12、3人が日本に派遣され、団長（金子龍）と団員数名が三日月町、牛津町の農家に約11カ月間のホームステイによる研修で滞在されている。</p> <p>平成20年、三日月町出身者が特別講師として中国海鹽県の秦山成校に招聘された。そこで、昭和56年に三日月町に農業研修生としてホームステイされていた金子龍氏の間で、友好交流の話が持ち上がった。</p> <p>その後、小城市内の各種団体の代表で構成された訪問団による海鹽県の訪問、海鹽県長、小城市長による行政間の訪問交流を行っている。</p>	<p>【芸術での交流】</p> <p>子どもたちや市鹽民の書道・絵画等の作品交流を行い、学校・公共施設で巡回展示し、多文化にふれる機会を作っている。</p> <p>上記の交流事業の一つとして、小城市内小中学校に作品を展示している。</p>
-----------------------	--------------------------------	--	---

(ウ) 小学校

学校名	提携先・提携日	提携校	提携の経緯	令和4年度の交流状況
<p>佐賀市立 諸富南小学校</p>	<p>明湖小学校 (台湾)</p>		<p>佐賀市八戸溝郵便局長より諸富町内の6年生に、「手紙の書き方」指導の一助になればと、お手紙交流を紹介していただく。</p>	<p>【手紙による交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾明湖小学校について、映像で紹介してもらい、その後、英語で手紙を書く。児童の名前入りのしおりも作成し、封書で送る。手紙の書き方についての指導も受ける。 台湾からの手紙の返信をもらい、再度、台湾の学校紹介をしてもらう。
<p>佐賀市立 循誘小学校</p>	<p>溪州小学校 (台湾)</p>		<p>郵便局からの依頼</p>	<p>【手紙による交流】</p> <p>台湾 高尾市新甲国民小学校の児童と互いに手紙を書いて交流する活動（6年生）</p>
<p>佐賀市立 高木瀬小学校</p>	<p>高尾市立新甲國小学校 (台湾)</p>		<p>佐賀市八戸溝郵便局長より高木瀬小の6年生に、「手紙の書き方」指導の一助になればと、お手紙交流を紹介していただく。</p>	<p>【手紙による交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾高尾市立新甲國小学校について、映像で紹介してもらい、その後、英語で手紙を書く。児童の名前入りのしおりも作成し、封書で送る。手紙の書き方についての指導も受ける。 台湾からの手紙の返信をもらい、再度、台湾の学校紹介をしてもらう。
	<p>ケスキパロカソウル小学校 (フィンランド)</p>		<p>佐賀市八戸溝郵便局長より高木瀬小の5年生に、「絵手紙の書き方」指導の一助になればと、絵手紙交流を紹介していただく。</p>	<p>【絵手紙による交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャンプ地になったフィンランドとの縁からケスキパロカソウル小学校に、絵手紙を送る。 フィンランドからの絵手紙が翌年佐賀県国際科から手紙と翻訳したものが届けられる。

<p>佐賀市立 新栄小学校</p>	<p>トヒョン小学校 (韓国 釜山市)</p>		<p>まちづくり協議会の主催で21年前から交流は始まり韓国から交流団を招いたり、韓国に行ったりして交流をしてきた。今年で21年目となる。</p>	<p>【来日しての交流】ここ2年はオンラインで交流してきたが、令和4年度は、11月13日(日)本校創立50周年記念式典当日に来日(職員、保護者総勢約50名)し、交流会を開催した。トヒョン小の児童は本校児童とともに授業に参加し、その後相互に出し物を披露し交流を深めた。トヒョン小校長も来日し本校創立50周年に対し祝辞をいただいた。</p> <p>【本校児童18名が訪韓 1月28日～31日】トヒョン小を本校児童18名が訪問し、交流会を行った。11月に宿泊させた児童の家にお世話になり、韓国の家庭の様子を見聞してきた。</p>
<p>鹿島市立 北鹿島小学校</p>	<p>大西(テソ)初等学校 (韓国 全羅南道高興(コフン)郡)</p>	<p>◎ H22.8.4</p>	<p>鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受入を行う。</p>	<p>【オンラインでの交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施学年 4、5、6年 ・内容 自己紹介を行い、互いに学習発表を行った。リコーダー演奏、図工の作品紹介やパワーポイントによる学校紹介等を行った。オンライン交流後、手作りのキーホルダーと折り紙作品のプレゼントした。
<p>小城市立芦刈小学校</p>	<p>中国浙江省海鹽県の学校 (中国浙江省)</p>		<p>昭和56年、日中農業農民交流協会の事業として農業研修生12、3人が日本に派遣され、団長(金子龍)と団員数名が三日月町、牛津町の農家に約11カ月間のホームステイによる研修で滞在されている。</p> <p>平成20年、三日月町出身者が特別講師として中国海鹽県の泰山成校に招聘された。そこで、昭和56年に三日月町に農業研修生としてホームステイされていた金子龍氏の間で、友好交流の話が持ち上がった。</p> <p>その後、小城市内の各種団体の代表で構成された訪問団による海鹽県の訪問、海鹽県長、小城市長による行政間の訪問交流を行っている。</p>	<p>【芸術での交流】</p> <p>子どもたちや市民の書道・絵画等の作品交流を行い、学校・公共施設で巡回展示し、多文化にふれる機会を作っている。</p> <p>上記の交流事業の一つとして、小城市内小中学校に作品を展示している。</p>

(3) 多文化共生の地域づくり

ア 県内の地域日本語教室の数

(令和5年3月31日時点)

所在地（市町）	日本語教室数	所在地（市町）	日本語教室数
佐賀市	6 教室	小城市	1 教室
唐津市	2 教室	嬉野市	1 教室
鳥栖市	1 教室	基山町	2 教室
多久市	1 教室	白石町	1 教室
伊万里市	1 教室	有田町	1 教室
武雄市	1 教室	—	—
鹿島市	1 教室	計	19 教室

調：県国際課調

5. 国際協力

(1) 国際協力の推進

ア 佐賀県海外技術研修員受入状況

年度	中国	ブラジル	アルゼンチン	ペルー	韓国	マレーシア	インドネシア	フィリピン	タイ	バングラデシュ	モリシャス	パラオ	計	主な研修機関
S55 ～ H5	110	25	6	1	2	1	2	0	0	0	0	0	147	各種県機関、チャーム洋装店、白石地区農協、衛生専門学院、溝田工業、ビューテック二葉、唐津市農協、アルセッド建築研究所、真生幼稚園、西九州大学、日祐、石橋建築事務所、大和養護学校、テク佐賀、久米製菓、鹿島市農協、佐賀新聞、フェイユ
H6	12	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	21	佐賀銀行、歯科医師会（佐賀医大）、JA武雄市、佐賀玉屋、県情報システム課、環境センター、窯業センター、工業センター、農試センター、上場センター、果試、畜試、県立病院
H7	9	4	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	17	農試センター、畜試、果試、窯業大学、窯業センター、タカタ九州、佐医大、佐賀広告センター、石橋建築事務所、JA神埼、佐賀大低平地防災研究センター
H8	9	5	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	18	農試センター、畜試、果試、窯業センター、ジムコ、教育センター、産業技術学院、広告センター、佐賀玉屋、佐賀銀行、石橋建築事務所、JA小城郡、松尾建設、増田羊羹本舗
H9	9	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	16	農試センター、畜試、果試、窯技センター、産業技術学院、環境センター、けやき荘、オサダ、鳥栖基山農協、佐大低平地防災研究センター
H10	8	4	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	17	諸井税理士事務所、佐賀県歯科医師会、緒方整骨院、産業技術学院、窯技センター、農試センター、畜試、果試、JA白石、ジムコ、家畜保健衛生所
H11	6	4	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	16	佐賀医大、カシゴホレーション、佐賀玉屋、鶴田整形外科、ジムコ、産業技術学院、佐賀大学、農試、果試、畜試、JA鹿島、栽培漁業センター
H12	7	4	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	16	永原学園、はがくれ荘、電算センター、工技センター、農試センター、畜試、佐賀医大、環境センター、窯技センター、中部保健所、教育センター
H13	9	2	0	2	0	1	1	0	0	0	1	1	17	佐賀大学、レモーンジャパン、工技センター、県立博物館、農試センター、佐城農協、ジャパンアーシステムが、戸上電機製作所、佐賀医大、佐大海浜台地生物生産研究センター、窯技センター、昭和自動車、佐賀保育園
H14	8	3	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	16	佐賀広告センター、重永デザイン事務所、果試、佐賀銀行、はがくれ荘、農試センター、佐賀みどり農協、総合看護学院、佐賀医大、佐賀大学、窯技センター、ビューテック二葉

年度	中国	ブ ジ ラ ル	アル ゼ ン チ ン	ペ ル ー	韓 国	マ レ ー シ ア	イ ン ド ネ シ ア	フ ィ リ ン ビ	タ イ	バ ン グ ラ デ シ ユ	モ ゴ ル	パ ラ オ	計	主 な 研 修 機 関
H15	7	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	13	佐賀電算センター、佐賀玉屋、ホテルニューオータニ佐賀、佐賀整肢学園、佐賀環境科学検査協会、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
H16	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7	真生幼稚園、佐賀大学、農試センター、窯技センター、果試、環境センター
H17	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	(財)環境科学検査協会、窯技センター、農試センター、林業試験場、サガシキ印刷
H18	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	環境センター、佐賀工業センター、佐賀食肉衛生研究所、音成印刷、窯技センター、玄海水産振興センター
H19	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	環境センター、農試センター、窯技センター
H20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター、佐賀電算センター
H21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
H22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
H23	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター
H24 ～ R4	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	12	佐賀大学
計	211	63	13	13	4	29	11	3	1	2	1	2	353	

※ S58年度まで県単独事業として実施。

調：県国際課調

S59年度からH15年度までは国庫補助事業として実施。

H16年度から再び県単独事業として実施。

H21年度からH23年度まではJICAの補助事業として実施。

イ 独立行政法人国際協力機構（JICA） 研修員受入状況

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
S60	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
S61	2	タ イ	〃
		アルゼンチン	佐賀技能開発センター
S62	1	タ イ	佐賀大学農学部
S63	2	ケ ニ ア	〃
		中央アフリカ	吉田鉄工所
H元	2	バングラデシュ	佐賀大学農学部
	1	ペ ル ー	〃
	1	ド ミ ニ カ	佐賀県農業試験場
	2	ケ ニ ア	(株)吉田鉄工所
H2	1	タ イ	伊万里技能開発センター
	1	インドネシア	佐賀大学農学部
	5	マレーシア	(有)伊万里色鍋島
H3	1	ケ ニ ア	(株)吉田鉄工所
H4	1	ケ ニ ア	〃
	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
H5	1	ミャンマー	佐賀大学理工学部
	1	大韓民国	佐賀医科大学耳鼻咽喉科学講座
	1	チ リ	佐賀県農業試験場
H6	1	フィリピン	佐賀県窯業技術センター
H8	1	スワジランド	(株)ワイ・ビー・エム
H9	1	バングラデシュ	佐賀県産業技術学院
H10	1	フィリピン	中部家畜保健衛生所
H11	1	フィリピン	佐賀県産業技術学院
H13	1	パラオ	(財)佐賀保育園
	1	モンゴル	昭和自動車(株)
H14	1	モンゴル	(有)ビューティック二葉
H16	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H17	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H18	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
	1	ブータン	佐賀大学農学部
H19	1	ブータン	〃
H20	1	ブータン	〃
	13	インドネシア	佐賀大学理工学部
H21	14	インドネシア	佐賀大学理工学部
H26	1	ケ ニ ア	佐賀大学大学院工学系研究科

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
H27	1	モザンビーク	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	エジプト	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
H28	1	モロッコ	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	南スーダン	佐賀大学大学院工学系研究科
H29	1	ナイジェリア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学大学院工学系研究科
	4	カメルーン	佐賀大学農学部
	1	モザンビーク	佐賀大学農学研究科
	1	エチオピア	佐賀大学農学研究科
	1	ガーナ	佐賀大学農学研究科
	1	エジプト	佐賀大学工学系研究科
H30	1	ルワンダ	佐賀大学工学系研究科
	1	セネガル	佐賀大学工学研究科
	1	ミャンマー	佐賀大学大学院熱帯資源・植物生産科学研究科
R2	1	ブルキナファソ	佐賀大学大学院農学研究科
R3	1	モザンビーク	佐賀大学農学研究科
	1	南アフリカ共和国	佐賀大学理工学研究科
	1	ベナン	佐賀大学理工学研究科
R4	1	カメルーン	佐賀大学農学研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学理工学研究科
	1	ナイジェリア	佐賀大学農学研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学理工学研究科
	2	ナイジェリア	佐賀大学理工学研究科
	1	アンゴラ	佐賀大学理工学研究科

※H22 ～ H25、R元の受入はなし

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

ウ 独立行政法人国際協力機構(JICA)海外技術専門家派遣状況（派遣時佐賀県在住者）

令和5年3月末現在

国・地域	派遣人数	指 導 科 目
ア ジ ア	98	
シンガポール	1	第三国（電力供給・送配電）
インドネシア	21	昆虫、海員学校実習、経済開発、救急医療、救急看護（産科）、モデリングとシミュレーション、人間工学(コンピュータ)、コンピュータネットワーク、情報システム、マルチメディア信号処理、地理情報システム（GIS）、技術移転計画、人口知能2、コンピューター映像、中小企業海外展開支援、母子手帳を活用した母子保健プロジェクト
タイ	22	マンゴウ蒸熱処理、医昆虫学、水管理、廃水処理技術、通信ケーブル、地域高等教育振興計画、チーフアドバイザー、石膏型成形、生産性運動の普及、CAD、石膏型、原料分析、機器分析、機関、CAD/CAM/CNC、感染症研究（媒介節足動物研究）
ベトナム	9	土壌物理学、農産物流通学、消化器内科、園芸学/バイオテクノロジー、実験室維持管理、法・司法改革2
バングラデシュ	12	園芸学、植物病理学、園芸、遺伝育種学、農学、雑草学、業務調整（母子保健サービス強化）
パキスタン	3	手術室看護、NICU看護、新生児集中治療室看護
マレーシア	5	技術移転計画、チーフアドバイザー、高速液体クロマトグラフによる特定化学物質の尿中代謝物の分析法、化学テロへの対処と課題、MJIIT支援アドバイザー
サウジアラビア	3	自動制御、電気通信、電気・電子
中国	6	野菜育種、切断、実験動物技術および管理、種子検定、チームリーダー/水稲育種・栽培、チーフアドバイザー
インド	1	鉄道線路ガス圧接
カザフスタン	2	甲状腺・乳腺診断指導
フィリピン	1	総合治水
スリランカ	5	農業経営、口唇口蓋裂の総合的診断治療システム、顎顔面補綴治療システム、顎顔面補綴技工システム、口唇口蓋裂治療システムの向上
モンゴル	1	建設分野における労働安全管理能力強化プロジェクト
ラオス	2	メタファシリテーション、経済・ガバナンス企画調査員
ミャンマー	2	ボランティア支援、業務調整/民間連携
キルギス	2	野菜種子生産振興プロジェクト、一村一品イシククリ式アプローチ
オセアニア	3	
ソロモン諸島	1	昆虫学
パプアニューギニア	2	業務調整/教材作成支援
中南米	29	
ホンジュラス	1	灌漑リハビリ計画レビュー
グアテマラ	3	脳神経外科、人類生態学、心臓病
パナマ	1	自動車整備
パラグアイ	8	寄生虫学、内科学、訓練管理、保健医療セクター調査、保険セクターサーベイ、ボランティア調整員、チーフアドバイザー/広域アドバイザー、農業・農村開発政策
ボリビア	3	病院管理、アースダムの設計・施工、ボランティア支援
チリ	5	直物組織培養、エアコン据付、第三国（光ファイバー伝送システム）、鉱山保安
メキシコ	5	ミニプロ（小規模米作近代化技術）、セラミック生産技術アドバイザー、マングローブ植林技術
ニカラグア	1	ボランティア支援
ブラジル	2	マングローブ生態系の回復と管理、ボランティア支援

国・地域	派遣人数	指 導 科 目
アフリカ	20	
エジプト	1	染織物
カメルーン	3	品種純化選定技術、種子検査技術、コメ振興プロジェクト
ケニア	3	地下水開発（堀削機運転・堀削機維持）、育種
シエラレオネ	1	企画調整員
タンザニア	1	灌漑/農民研修
マリ	2	村落開発アドバイザー（農業一般）
ウガンダ	3	業務調整/稲作普及、経済インフラ（運輸・交通、電力）、経済インフラ
ブルキナファソ	1	税関業務能力向上
マラウイ	2	船舶機関士養成、企画調整員
モロッコ	1	経済協力案件形成促進・監理
ガーナ	1	企画調整員（ボランティア支援）
ジブチ共和国	1	援助プログラム策定支援
計	150	

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

エ 青年海外協力隊等派遣状況（令和5年3月末現在）

（青年海外協力隊・海外協力隊、日系社会青年海外協力隊・日系社会海外協力隊、シニア海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊、各短期派遣を含む）

（ア）年度別派遣者数

年度	派遣者数	男	女
S44～H19	243	150	93
H20	15	7	8
H21	20	12	8
H22	22	9	13
H23	8	5	3
H24	10	6	4
H25	10	6	4
H26	9	4	5
H27	9	5	4
H28	13	6	7
H29	7	4	3
H30	14	8	6
R元	9	4	5
R2	0	0	0
R3	2	0	2
R4	3	1	2
計	394	227	167

（イ）国別・地域別派遣者数（令和5年3月31日現在）

国・地域	累 計	派 遣 中	帰 国
ア ジ ア	100	1	99
インドネシア	5	0	5
中 国	5	0	5
タ イ	6	0	6
フ ィ リ ピ ン	10	0	10
マ レ ー シ ア	11	0	11
ベ ト ナ ム	11	1	10
バ ン グ ラ デ シ ュ	5	0	5
ネ パ ー ル	8	0	8
ス リ ラ ン カ	10	0	10
ラ オ ス	5	0	5
イ ン ド	1	0	1
ブ ー タ ン	8	0	8
カ ン ボ ジ ア	6	0	6
モ ン ゴ ル	7	0	7
パ キ ス タ ン	1	0	1
ウ ズ ベ キ ス タ ン	1	0	1
オ セ ア ニ ア	33	0	33
パ プ ア ニ ュ ー ギ ニ ア	7	0	7
ソ ロ モ ン	5	0	5
ト ン ガ	5	0	5
サ モ ア	2	0	2
バ ヌ ア ツ	5	0	5
ミ ク ロ ネ シ ア	1	0	1
フ ィ ジ ー	4	0	4
キ リ バ ス	1	0	1
パ ラ オ	1	0	1
マ ー シ ャ ル 諸 島	2	0	2
中 南 米	111	1	110
ウ ル グ ア イ	1	0	1
ホ ン ジ ュ ラ ス	12	0	12
ベ ル ー	14	0	14
ボ リ ビ ア	14	0	14
コ ロ ン ビ ア	3	0	3
パ ラ グ ア イ	14	1	13
グ ア テ マ ラ	9	0	9
ニ カ ラ グ ア	3	0	3

国・地域	累計	派遣中	帰国
エルサルバドル	4	0	4
ベリーズ	2	0	2
エクアドル	4	0	4
パナマ	3	0	3
ジャマイカ	1	0	1
ドミニカ共和国	8	0	8
コスタリカ	1	0	1
メキシコ	4	0	4
セントルシア	2	0	2
ブラジル	11	0	11
チリ	1	0	1
アフリカ	120	1	119
ケニア	18	0	18
タンザニア	15	0	15
ガーナ	10	1	9
リベリア	2	0	2
ザンビア	15	0	15
セネガル	8	0	8
マラウイ	14	0	14
ニジェール	4	0	4
コートジボアール	3	0	3
ボツワナ	5	0	5
マダガスカル	2	0	2
ジンバブエ	2	0	2
エチオピア	6	0	6
ウガンダ	7	0	7
ベナン	3	0	3
カメルーン	1	0	1
モザンビーク	2	0	2
ブルキナファソ	3	0	3
中東	22	1	21
ヨルダン	5	0	5
シリア	3	0	3
エジプト	2	0	2
モロッコ	8	0	8
チュニジア	4	1	3
ヨーロッパ	8	0	8
ブルガリア	5	0	5
ハンガリー	3	0	3
佐賀県計	394	4	390

(ウ) 青年海外協力隊・海外協力隊員派遣状況（佐賀県出發者）

性別	派遣国	業種名	期間
1 女	ガーナ	PCインストラクター	令和4年1月～令和6年1月
2 男	チュニジア	卓球	令和4年7月～令和6年7月
3 女	パラグアイ	家畜飼育	令和5年1月～令和6年4月
4 女	ベトナム	コミュニティ開発	令和4年5月～令和5年5月

(エ) シニア海外協力隊派遣状況（佐賀県出發者）

性別	派遣国	業種名	期間
1 —	—	—	—

(オ) 日系社会青年海外協力隊・日系社会シニア海外協力隊派遣状況（佐賀県出發者）

性別	派遣国	業種名	期間
1 —	—	—	—

オ アセアン青年・青年研修等受入状況

年度	受 入 グ ル ー プ	人数	受 入 機 関
S60	マレーシア青年指導者	25	青少年育成県民会議
S62	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	シンガポール勤労青年	24	青少年育成県民会議
S63	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	フィリピン青年指導者	26	佐賀県連合青年団
H元	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	パプアニューギニア青年指導者	14	佐賀県連合青年団
H2	アセアン青年混成チーム（公務員）	30	県国際交流室
	タイ農村青年	25	佐賀県農業青年クラブ連絡協議会
H3	フィリピン社会福祉青年	20	県国際交流室
H4	アセアン青年混成チーム（教員）	25	県教育委員会総務課
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
H5	アセアン青年混成チーム（学生）	30	佐賀県ユースホステル協会
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流課
H6	アセアン青年混成チーム	6	県国際交流課
	アセアン青年混成チーム（教員）	18	佐賀ユネスコ協会
H8	南西アジア教育	10	佐賀ユネスコ協会
H9	スリランカ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H10	アセアン青年混成チーム（行政）	24	（社）九州・山口経済連合会
	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H11	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H12	ネパール	10	佐賀ユネスコ協会
H13	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H14	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
H15	インド教員（障害児教育）	19	佐賀ユネスコ協会
H16	マレーシア 教育（初等）	20	佐賀ユネスコ協会
H17	中央アジア（保健医療）	25	みやき町国際交流会
H20	大洋州混成 行政（地方行政）	12	みやき町国際交流会

※H21～R4の受入はなし

出典：独立行政法人国際協力機構九州センター調

Ⅲ 国際交流関係諸機関

1. 市町国際交流担当課（室）

市町名	担当課（室）名	電 話 番 号	F A X	メールアドレス
佐賀市	総務部国際課	国際交流係 0952-40-7023 多文化共生係 0952-40-7406	0952-40-2050	kokusai@city.saga.lg.jp
唐津市	地域交流部 地域づくり課	0955-72-9220	0955-72-9182	kokusai-chiiki@city.karatsu.lg.jp
鳥栖市	市民協働推進課	0942-85-3508	0942-83-3310	kyoudou@city.tosu.lg.jp
多久市	総務課 行政係	0952-75-2112	0952-75-2110	somu@city.taku.lg.jp
伊万里市	まちづくり課 多文化共生係	0955-22-7046	0955-22-9575	machizukuri@city.imari.lg.jp
武雄市	総務部市民協働課	0954-23-9122	0954-23-9811	kvoudou@city.takeo.lg.jp
鹿島市	企画財政課	0954-63-2101	0954-63-2129	kikaku@city.saga-kashima.lg.jp
小城市	企画政策課	0952-37-6115	0952-37-6163	shiminkyoudou@city.ogi.lg.jp
嬉野市	観光商工課	0954-42-3310	0954-42-2960	kankou@city.ureshino.lg.jp
神埼市	企画課	0952-37-0102	0952-52-1120	soumu-02@city.kanzaki.lg.jp
吉野ヶ里町	財政協働課	0952-37-0331	0952-52-6189	zaiseikyodo@town.yoshinogari.lg.jp
基山町	まちづくり課 協働推進係	0942-92-7935	0942-92-0741	kyodosuishin-2@town.kiyama.lg.jp
上峰町	まち・ひと・ しごと創生室	0952-52-2182	0952-52-4935	sousei@town.kamimine.lg.jp
みやき町	まちづくり課	0942-96-5526	0942-96-5530	machizukuri@town.miyaki.lg.jp
玄海町	企画商工課	0955-52-2112	0955-52-3041	kikakusyoukou@town.genkai.lg.jp
有田町	商工観光課	0955-46-2500	0955-46-2100	svoko@town.arita.lg.jp
大町町	企画政策課	0952-82-3112	0952-82-3117	machidukuri@town.omachi.lg.jp
江北町	総務政策課 企画情報係	0952-86-5612	0952-86-2130	soumuseisaku@town.kouhoku.lg.jp
白石町	総合戦略課 白石創生推進係	0952-84-7132	0952-84-6611	sougousenryaku@town.shiroishi.lg.jp
太良町	企画商工課	0954-67-0312	0954-67-2425	kikaku-ioho@town.tara.lg.jp

2. 県の機関

所在地：（本庁・教育庁）〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 電話(代表)：0952-24-2111
 (佐賀商工ビル) 〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 電話：0952-25-7004

機関名	事業内容	電話番号	F A X
国際課（本庁）	○国際交流に係る施策の総合調整・推進、国際協力に関すること	0952-25-7328	0952-25-7084
	○旅券に関すること	0952-25-7005	0952-25-7417
国際交流プラザ（佐賀商工ビル1階）	○多文化共生の推進に関すること	0952-25-7004	0952-25-7664
空港課（本庁）	○佐賀空港の管理運営、整備、利活用に関すること	0952-25-7104	0952-25-7318
港湾課（本庁）	○港湾区域内における港湾・海岸の管理	0952-25-7163	0952-25-7315
観光課（本庁）	○観光施策の総合調整及び推進、観光宣伝及び観光客の誘致、旅行業及び通訳案内業に関すること	観光企画担当 0952-25-7386 国内・インバウンド担当 0952-25-7098	0952-25-7304
産業政策課（本庁）	○商工施策の企画・調整等に関すること	0952-25-7357	0952-25-7270
流通・貿易課（本庁）	○地場産業の振興等に関すること	0952-25-7095	0952-25-7307
流通・貿易課 国際経済担当（佐賀商工ビル4階）	○国際経済に係る施策の企画及び調整並びに推進、県内企業の海外展開の支援、海外との経済交流に関すること。	0952-25-7146	0952-25-5905
教育振興課 グローバル人材育成担当（教育庁）	○グローバル化に対応した教育の推進	0952-25-7411	0952-25-7409

3. その他関係機関

機関名	住所	電話番号	F A X
(公財)佐賀県国際交流協会	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル1階	0952-25-7921	0952-26-2055
(公財)佐賀県地域産業支援センター さが県産品流通デザイン公社	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県庁新館9階	0952-20-5601	0952-20-5600
(一社)佐賀県観光連盟	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号 佐賀県庁新館6階	0952-26-6754	0952-26-7528
福岡出入国在留管理局 佐賀出張所	〒840-0801 佐賀市駅前中央三丁目3番20号 佐賀第2合同庁舎6階	0952-36-6262	0952-36-6261
独立行政法人 国際協力機構 JICA九州	〒805-0062 北九州市八幡東区平野二丁目2番1号	093-671-6311	093-671-0979
経済産業省 九州経済産業局 国際部	〒812-8546 福岡市博多区博多駅東二丁目11番1号 福岡合同庁舎本館	(国際課) 092-482-5423～25	092-482-5321
日本貿易振興機構(JETRO) 佐賀	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル4階	0952-28-9220	0952-28-9230
佐賀市国際交流協会	〒840-0801 佐賀市駅前中央一丁目8番32号 アイスクエアビル1F	0952-29-0322	0952-40-2050
伊万里市国際交流協会	〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1	0955-22-7046	0955-23-2121
唐津市国際交流協会	〒847-0013 佐賀県唐津市南城1番1号 市民交流プラザ交流活動室	0955-72-9220	0955-72-9182
陶都有田国際交流協会	〒849-4192 佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地 有田町役場 商工観光課内	0955-46-2500	0955-46-2100
肥前町国際交流協会	〒847-1516 佐賀県唐津市肥前町瓜ヶ坂434番地	0955-54-2481	0955-54-2481